



経営トップ


まさひろ酒造株式会社

「うまさひろがる」を合言葉に、上質の泡盛を提供します。

起業家訪問 An Entrepreneur

安里紅型工房

RRI No.113

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所



※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

CONTENTS

<p>経営トップに聞く 01 まさひろ酒造株式会社 ～「うまさひろがる」を合言葉に、上質の泡盛を提供します。～ 代表取締役社長 新城 満</p>	
<p>起業家訪問 An Entrepreneur 06 安里紅型工房 ～革靴に琉球紅型を染色する技術を開発～ 代表者 安里 和雄 開発者 安里 昌敏</p>	
<p>寄稿 新時代の教育研究を切り拓く 08 ～OISTオープンキャンパスに5千名以上が来場～ 沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション サイエンスコミュニケーションインターン レティツィア・ディアマンテ (翻訳:同ランゲージセクション 遠藤 妙子)</p>	
<p>OCVBの取り組みについて 12 ～沖縄観光タクシー乗務員資格認定制度～ 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー</p>	
<p>アジア便り 香港 16 ～国際的近代都市 香港について～ レポーター:村井 俊秀(琉球銀行) 沖縄県香港事務所に出勤中(副所長)</p>	
<p>りゅうぎんビジネスクラブ 18 ～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～</p>	
<p>行政情報73 19 沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組等について 内閣府沖縄総合事務局経済産業部</p>	
<p>県内大型プロジェクトの動向70 20</p>	
<p>沖縄県の景気動向 (2015年10月) 22 ～観光関連の入域観光客数や消費関連の百貨店売上等が前年を上回り、建設関連も公共 工事、新設住宅着工が好調に推移、県内景気拡大の動きは14カ月連続で強まっている～</p>	
<p>学びバンク 34</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宜野湾市の発展 ～自動車販売 街道に活気～ 琉球銀行宜野湾支店長 伊東 和美(いとう かずみ) ・無形民俗文化財 ～観光に活用 文化伝承へ～ 琉球銀行泊支店長 菊池 毅(きくち たけし) ・改正農地法 ～農業の所得増加に期待～ 琉球銀行審査部次長 真壁 朝之(まかべ ともゆき) ・NISA利用 ～商品知りリスクは分散～ 琉球銀行営業統括部リテール業務課上席調査役 城間 章(しろま あきら) ・字安次嶺の村踊り ～踊りで交流 地域活性化～ 琉球銀行田原支店長 宮城 嗣男(みやぎ つくお) 	
<p>経営情報 工事進行基準を利用した不正会計の防止のために 38 ～「工事進行基準等の適用に関する監査上の取扱い」により、 自社の内部統制再点検に活用する。～ 提供 太陽グラントソントン税理士法人</p>	
<p>経済日誌 2015年11月 39</p>	
<p>県内の主要経済指標 40</p>	
<p>県内の金融統計 42</p>	

経営
トップに聞く「うまさひろがる」を
合言葉に、上質の泡
盛を提供します。まさひろ酒造 株式会社
しんじょう みつる
新城 満 社長

琉球王府の免許を受け、初代比嘉昌文氏が首里で創業したのが 1883 年（明治 16 年）、老舗の泡盛メーカーである。1979 年に 4 代目の比嘉昌晋氏（現会長）が経営に就き、最新設備の工場の設置、県外市場の開拓、ISO の認証取得など経営基盤の充実を進め、事業を成長させた。2014 年 9 月に新城満氏が社長を継ぎ、新たな視点で舵を取り飛躍を図る。糸満市西崎町の本社をお訪ねし、新城社長にこれまでの歩み、事業内容、経営理念などをお聞きした。

インタビューとレポート 照屋 正

長い歴史を持つ御社の創業は、明治時代までさかのぼります。代々続く事業のこれまでの歩みをお聞かせください。

琉球王府から比嘉昌文が泡盛製造の免許を受け、1883 年（明治 16 年）に那覇市首里で創業したのが始まりになります。

1912 年（大正元年）に、2 代目の比嘉昌源が蔵を引き継ぎました。その頃の沖縄の泡盛業界は、県外にも出荷するほどの活況をみせていたと言います。1936 年（昭和 11 年）に 3 代目の比嘉昌廣が継承した時代は、戦争ですべてが失われた時代でした。しかし、すぐに事業の復興に取りかかり、1949 年には工場を与那原町に移し、規模の拡大を

図りました。

「合資会社比嘉商店」と法人化したのが 1965 年。1967 年には、那覇市首里に近代的な設備を備えた新しい工場を建築し移転しました。

1979 年に 4 代目の社長として就任したのが比嘉昌晋（現会長）です。将来の成長を見据え、積極的に県外市場の開拓に取り組み、現在の安定した県外出荷の基盤を築きました。

本社と工場を現在の糸満市に移したのは、創業 100 年目にあたる 1991 年でした。新工場には、泡盛の歴史や文化を広く知ってもらいたいという目的で「泡盛まさひろギャラリー」を設けています。

社名を現在の「まさひろ酒造株式会社」へ改め



たのが 2015 年 3 月です。地域密着を基本姿勢とし、皆さまに親しまれてきた屋号「まさひろ」を社名にすることで、企業イメージをより明確にしたいという思いが込められています。

私は、2014 年 9 月に当社から要請を受けて社長に就任しました。これまで経験してきた業界は金融業と不動産業です。当然、泡盛業界に関わる知識や経験はありません。

泡盛の消費量は 2004 年をピークに少しずつ減少しており、先行きの見通しも楽観はできません。そんな状況にあって当社は、外部の人間の視点と発想を取り入れながら「新たな成長のレール」づくりに取り組むことを決めました。その舵取りを担う役割として私が経営に関わることになったわけですが、就任して 1 年 4 か月、学ぶべきことの多い毎日をご過ごしています。ただ、経営の基本はどの業態も一緒だと感じており、じっくりと私なりのやり方で期待に応えていきたいと思っています。

業歴の長い御社はさまざまな特徴や強みをお持ちと思いますが、その中から主なものをお聞かせください。

第 1 の当社の特徴は、品質の向上を実直に追い続け、皆さまからも信頼をいただいている点です。

例えば、2002 年に泡盛業界で初めてとなる ISO9001-2000 認証を取得し、現在も継続しています。また、もろみ酢工場においては、2004 年にもろみ酢の ISO9001-2000 認証を取得しています。徹底した管理のもとで、安全・安心で品質の良い泡盛造りに力を注いでいます。

2 点目は、商品開発力です。泡盛のおいしさに磨きをかけているのはもちろんですが、当社では約 20 年前から社内にデザイン部門を設け、ボトルやラベル、パッケージなどの開発にも力を入れています。

もろみ酢商品では、ぶどう酢を入れた「まさひろもろみ酢ぶどう酢入り」を開発し、ヒット商品に育てました。

3 点目は、県外市場に早くから進出し、販売網を築いていることです。1998 年にはすでに県外ブランドとして泡盛「島唄」を発売し、広域展開を始めました。泡盛とその文化を全国に伝えることで、泡盛の普及に努めています。

4 点目は、泡盛の歴史や文化が学べ、製造工程が見学できる「泡盛まさひろギャラリー」を設置していることです。琉球王朝時代に使われた泡盛の容器や、戦後の泡盛造りに使われた道具類を展示し、お客さまの関心を集めています。



ビンテージ泡盛コレクション



古酒蔵（那覇市首里石嶺町）

また、英語版、中国語版で上映している泡盛の製造工程ビデオは、海外のお客さまから好評をいただいています。泡盛コレクションには50年前のビンテージを揃え、人気のコーナーとなっています。来場者は年間で約7万人。入場はもちろん無料で試飲も楽しめます。

今年の3月に社名を改め、新しい企業イメージを前面に出したキャンペーンを展開しています。その内容をご紹介します。

社名の変更を機に、「うまさひろがる」を合言葉に4つの宣言方式で、以下の企画を実施しています。

1. 「これからも安心・安全な高品質でおいしい泡盛を造り続けます」
泡盛業界で初のISO9001-2000 認証を取得し、品質の向上に努力しています。さらに、モンドセレクション最高金賞受賞 22 品、金賞受賞 16 品、銀賞受賞 7 品、インターナショナル・トロフィー 11 個受賞などの評価をいただいています。
2. 「お客様の笑顔に応援する“グッドスマイルカンパニー”をめざします」
①お客さまのニーズを適確に捉え、より良い



百年蔵（糸満市西崎町）



梅酒の仕込み風景

サービスを笑顔で提供すること、②スピード感を持って笑顔で“考動”すること、③お客さまのサービスリクエストに親切・丁寧に笑顔で応えること—をめざしています。

3. 「自然環境・地域社会を大切にし、社会貢献企業をめざします」
環境負荷の軽減を図り、環境保全活動を支援していきます。同時に地域社会の発展に寄与する企業をめざし、地域人材の育成を支援していきます。
4. 「もろみ酢を通して“健康・長寿おきなわ”を応援します」

県民の皆さまに愛飲される高品質なもろみ酢を提供し、地域の笑顔と健康づくりのお手伝いをしていきます。

ところで皆さまは、「瓶踊り」をご存知でしょうか。泡盛の一升瓶を頭に寄せながら、カチャーシー踊りや三味線を弾く大変ユニークなパフォーマンスです。テレビコマーシャルの「泡盛まさひろ瓶踊り編」で評判になり、今では当社が主催するイベントのメインコンテンツになっています。

今回のキャンペーンを展開する中で、「泡盛まさひろと言えば“瓶踊り”」というイメージの定着も同時に図っていきたくと考えています。



2015年モンドセレクション受賞



十年古酒五頭馬



海人 720ml



蔵出しまさひろ蔵撰古酒
(県知事賞)



まさひろもろみ酢ぶどう酢入り

具体的に御社の特徴的な商品を教えてください。

■八年古酒「黄金まさひろ」

特徴は、①8年古酒をベースに12年以上熟成した樽酒原酒をブレンドしたこと、②熟練のブレンダーによって芳醇な香りと古酒のまろやかな深い味わいを生む独自のブレンド比率を実現したこと、③多くの貯蔵酒の中から選び抜いた原酒を使用したこと、などです。

■十年古酒「五頭馬 (ごとうま)」

国際品評会で8年連続で最高金賞の榮譽を受賞している淡く美しい琥珀色プレミアム古酒です。熟成による味の変化のピークを迎えた10年以上の原酒のみを100%使用。樽貯蔵原酒の香り高い上品な味わいがお楽しみいただけます。法人や個人向けの贈答用として大変ご好評いただいています。

■「蔵出しまさひろ蔵撰古酒」

2015年度の泡盛鑑評会で県知事賞を受賞しました。来年春に限定発売を予定しています。

■「まさひろもろみ酢ぶどう酢入り」

ぶどう酢をブレンドしたもろみ酢です。飲みやすくおいしいと幅広い年代の皆さまから好評をいただいています。スポーツを続けている方や健康維持に飲まれる方のほか、幼稚園の子どもたち

が毎日飲んでいるという報告も受けています。贈答用としてのニーズも増えてきました。

経営理念についてお聞かせください。

会社理念

沖縄の文化、伝統産業である泡盛製造業を通して社会に貢献する。

社長の経営理念

1. お客様に喜ばれる商品・サービスを提供して社会に貢献する。
2. 社員が物心両面で幸せになれる会社にする。
3. 每期安定した利益を確保する。
4. 地域密着経営により地域になくてはならない会社をめざす。
5. 泡盛製造販売を通して県内、県外、海外に泡盛文化を広める。

私たちは、地域になくてはならない会社であり続けるために努力しています。地域になくてはならない会社とは、地域の皆さまに喜ばれる商品・サービスを提供することを大切にする会社です。

すでに商品の品質に一定の評価をいただいている当社は、地域の皆さまに喜ばれ成長し続けるた

会社概要

商 号：まさひろ酒造株式会社
 本社・工場：沖縄県糸満市西崎町 5-8-7
 連絡先：098-994-8080
 創 業：1883 年（明治 16 年）
 役 員：代表取締役会長 比嘉 昌晋
 代表取締役社長 新城 満
 専務取締役 比嘉 美智子
 取締役 比嘉 昌文
 監査役 百田 勝彦
 職 員 数：40 名（パート・アルバイト含む）
 事業内容：泡盛の製造・販売
 古 酒 蔵：那覇市首里石嶺町 4-54
 百 年 蔵：糸満市西崎町 4-22-3



2015年まさひろ酒造主催『瓶踊り大会』



組織力と人材育成が経営の基本

めに今後、企画力やサービス力に力を入れることが重要だと考えています。それによって「まさひろ」ファンを増やしていきたいと考えています。

その際私たちは、製造業であり、同時にサービス業であることを改めて自覚する必要があります。基本的なことですが、「お客さま第一主義」をしっかりと理解して身に付け、実践することが求められます。

こうした考え方で全員が一つになって組織力を発揮することができれば、どのような環境変化にあっても勝ち残れる会社になると私は考えています。

会社を運営するうえでの重要な要素として、組織力と人材育成をにかけています。人材育成の考え方をお聞きかせください。

会社と社員は、共存共栄の関係にあります。社員が成長することで会社は発展し、会社が発展することで社員の生活が安定します。それを前提に、社員の皆さんに期待していることを3点あげたいと思います。

第1は、「お客さま第一主義」の実践です。当社がサービス業でもあることを忘れずに、お客さまの視点に立って仕事を進め、親切・丁寧な接遇

を心がけるということです。

第2は、目標達成に対する意識を強く持ち、数字にこだわることです。そのためには達成に向けて、自ら考え行動する“考動”の姿勢を身に付けてほしいと教えています。

第3は、常に自分を高めるように向上心を持ち、問題意識を持って仕事に取り組むことです。会社の成長は、個々の社員の成長なくしては実現しません。

これからの事業展開についてお聞かせください。

当社は、従来から県外の出荷に力を入れ、泡盛の市場拡大に努めてきました。引き続き県外出荷は重要な位置付けで推進を図ります。ただ、構成比でいえば今後、県内販売のウェートを高めていく方向です。そのために業務用向けの販売を増やしたいと考えています。私たちが持つあらゆるネットワークを活用して、地道に実績を積んでいきたいと思っています。

将来的にはアジアへの輸出も視野に入れていきます。当社の泡盛ギャラリーにはアジアの観光客の皆さまも多く訪れ、泡盛を購入していただいています。海外でも需要が十分に見込めると思っていますので、長期的な視点で取り組んでいきます。

安里紅型工房

革靴に琉球紅型を染色する
これまでにない技術を開発。
沖縄の伝統技術を取り入れた
新しい商品として全国に
向けて発信する。



あさと かずお 代表 安里 和雄
あさと まさとし 開発者 安里 昌敏

事業概要

○代表者	あさと かずお 安里 和雄
○設立	1982年
○事業内容	琉球紅型の制作・販売
○工房	沖縄県宜野湾市宜野湾 2-14-8
○TEL	098-893-6785
○従業員	2人

当工房の概要

私（安里和雄代表）は、那覇市首里の紅型工房で約6年間学び、独立後1982年に現在の所在地の宜野湾市宜野湾で工房を開設しました。

多くの方に琉球紅型を身近に感じてもらい、また理解を深めてもらいたいという思いから琉球紅型教室を県内各地で開催しています。長く制作活動を続ける中で、1981年に沖展の入選、1995年に沖縄県工芸デザインコンペの佳作などをいただき、それらを励みに制作に打ち込む一方で、1999年に通産大臣認定工芸士の資格を取得し、琉球紅型の普及に積極的に関わってきました。

当工房では2人の息子とともに制作活動を続けており、このほど次男の昌敏が革靴に琉球紅型の染色を施す技術を開発し、注目を集めました。

以下で、その革靴が誕生した経緯やこれからのチャレンジなどについて、開発した昌敏がお話します。

『紅型の革靴』の開発まで

私（安里昌敏氏）は、大学時代に父の仕事を手伝いながら紅型の染色技術を身に付け、その頃から「紅型の染色技法をいろんなところで応用してみたい」という思いを持っていました。革製品を選んだのは、「誰もやったことのないもの」に挑戦したかったからです。

これまでも、紅型のデザインをあしらった革製品は流通していましたが、紅型で使用する顔料ではなく、革専用の染料を使った製品でした。紅型の顔料を使った染色の試みは前例がなく、成功するあてなどありません。「不可能と言われるからこそ、実現できれば嬉しい」。そんな気楽な気持ちも持ちながら、試行錯誤を繰り返し、開発に打ち込んでいました。

3年かかりましたが、革製のカードケースの染色に成功しました。

当工房は、埼玉県の呉服卸会社と取り引きしており、同社はオーダーメイドの革靴を製造する事業も行っています。同社の経営者が来訪された際に、完成したばかりのカードケースを見せたところ大変興味を示し、「革靴に紅型を染めてみてはどうか」という提案をいただき、それが『紅型の革靴』にチャレンジするきっかけとなりました。

カードケースや財布の革は、比較的染めやすい材質ですが、靴の革はそれらに比べて薄く、染色を施すにはさらに高い技術が求められます。幸い同社の積極的な協力もあって2年で完成し、今回の商品化につなげることができました。



着物の「地染め」技術を使った革靴



親子3人で制作に打ち込む



紅型の女性用革靴（パンプスタイプ）



紅型の女性用革靴

結局、紅型の革靴が誕生するまでに時間はかかりました。ただその分、製品には細かいノウハウが詰まっています。当工房の独自の技術としてさらに磨きをかけていきたいと考えています。

靴には伸縮性の高い一枚皮を使用し、足になじみやすいタイプに仕上げました。写真の黄色い靴は、着物の「地染め」という技術を施した作品となっています。

販売に向けて

今年9月、那覇市のタイムスビルで紅型の革靴の展示発表会を前述した卸会社と共同で開催しました。訪れた多くの皆さまが、驚き、感動してくださったことがとても印象的でした。

オーダーメイドのため価格が9万円程になりますが、さっそく注文をいただいたほか、複数の相談も受けています。完成したばかりの商品なので、販売に向けた取り組みはこれからが本番というところです。

来年2月に東京ビッグサイトで開催される「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2016」に卸会社がブースを設ける予定です。そこに私たちの『紅型の革靴』が展示されることが決まりました。この催しは、全国の優れたモノづくりの技術から生まれた商品が一堂に集まる見本市で、81回目を数えます。

沖縄の伝統技術で彩った革靴を、国内外の多くの方々に見てもらうことを今から楽しみにしています。

さらなるチャレンジ

革靴だけでなく、いろいろなものに挑戦したいと思っています。

「身近で意外なところに紅型がある」、「沖縄らしいおもてなしの空間」というシーンを提供するのが私の目指す方向です。

父が打ち込んできた沖縄の伝統工芸である紅型の美しさとその価値を、もっと多くの方々に知ってもらい、親しんでもらいたい、そんな気持ちがあるのが私の根底にあります。

当工房のこれからの取り組み

私（安里和雄代表）は、10年あまり琉球紅型の普及に取り組んできましたが、今回の革靴のように、新しい「沖縄の特産品」が生まれることで琉球紅型の普及が一層進むと期待しています。

当工房では、琉球紅型の着物や帯をコンスタントに制作しつつ、かりゆしウェアのオリジナル作品の発表、婦人雑誌への作品の掲載、通信販売での商品の提供など、琉球紅型を沖縄から全国に向けて発信しています。

また、「紅型でこういうものが作りたい」というご相談があれば、積極的に挑戦していきたいと思っています。

一人でも多くの方が、琉球紅型のファンになってくれることを心から願っています。

（レポート 照屋 正）

寄稿

新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

OISTオープンキャンパスに5千名以上が来場



イタリア出身のレティツィア・ディアマンテは、沖縄科学技術大学院大学(OIST)において、サイエンスコミュニケーションのインターンとして科学記事を執筆しています。英国ケンブリッジ大学で博士号(生化学)を取得後、同国インペリアル・カレッジ・ロンドンでサイエンス・メディア・プロダクションで修士号を取得。OIST着任前はミャンマーの国連機関に勤務していました。日本語も現在習得中です。

(記事翻訳:OISTランゲージセクション 遠藤妙子)

レティツィア・ディアマンテ

2015年11月8日(日)、沖縄科学技術大学院大学(OIST)のオープンキャンパスが開催され、澄みきった青空のもと、県内各所からお越しいただいた来場者に科学技術の様々な催しを楽しんでいただきました。

当日は、OISTキャンパス内の5つの会場で36の科学の催しが行われ、350名のボランティアが18の飲食店とともに、5000名を超える来場者をお迎えしました。静電気発生装置で髪の毛を逆立てたり、電子顕微鏡に触れたり、ロボットと対話したり、不思議なペンで回路を作ったり、脳の錯覚による散髪の疑似体験をしたりと、県内でも珍しいユニークな催しものがたくさん用意されました。

OISTオープンキャンパスは、ロボットからアリ、イカからスーパーコンピュータま

で幅広いテーマで、子どもから大人まで楽しめるイベントです。来場者は、金の原子を電子顕微鏡で観察したり、深海に棲むサンゴ礁を調べるための水中探検ロボットを遠隔操作したり、一日科学者となってOISTの研究室で実際に使われている研究機器の一部に触れていただきました。子供たちに特に人気だったのは、液体窒素とロボットを使った実験です。

液体窒素の実験を行ったOISTのジョウベルト・ルドヴィック研究員は「マイナス200度の液体窒素で凍らせたキャベツが粉々に飛び散る様子を見たり、サクサクのマッシュマロを食べたり、楽しんでいただけたかと思えます。鼻から吐く息が白くなるのは面白いですよ」と振り返りました。



超伝導を体験



ロボットと遊ぶ



1日科学者になろう



水中ロボットを遠隔操作する

また、OISTの新竹積教授、エヴァン・エコノモ准教授、沖縄県立博物館・美術館の藤田祐樹学芸員、OISTクリニックの原稔医師による講演も行われました。「身の回りにある物理」を体験するサイエンスショーでは、実験に興味津々の子供たちで500名収容の講堂はいっぱいになりました。本サイエンスショーを行ったOIST博士課程2年次の学生、ジェームス・シュロスさんは、「とても楽しい雰囲気でした。身の回りの不思議な物理学の世界を子どもから大人まで楽しんでもらえるショーにしたいと思っていました。実際、視点を変えるだけで身の回りには面白いものがあふれていますよ」と科学の魅力を語りました。参加者のひとりで理科の教員を志望しているという田川翔輝さんは、「このようなことを将来やりた

いなぁと思いました。退屈な授業だと、いつ終わるのかな、なんてことになりますが、今回の1時間はあっという間でびっくりしました」と感想を述べてくださいました。

「わくわくプログラミング」はオープンキャンパス恒例の大人気のプログラムです。OISTのウェブサイト・アドミニストレータ、マイケル・クーパーさんは「今年は子どもが作ったゲームを使って、リアルタイムでプログラミングを行いました。参加した子ども達の意見を聞きながらその場でプログラミングを変更していきました。出来上がったのは、緑のアフロヘアの人食いペンギン！子どもたちは大喜びでした。とても楽しかったです」と会場の様子を語りました。



水の上を歩いて楽しむ



わくわくプログラミング



「身の回りにある物理」サイエンス・ショー



やちむん（北窯）ゆんたくラボで陶芸に挑戦

那覇からシャトルバスでお越しくくださった新垣さん（60歳）は沖縄の子どもたちの未来に思いを馳せ、次のように語っていただきました。「ここでは子どもたちが未来に希望が持てるように思います。自分自身より次の世代のことですね。研究を続けないと自然も破壊されるし、地球がなくなったら住むところがなくなりますね。みんなどこの国ではなく、地球人だなあと 생각합니다」ご主人様と3人のお子様と共にご来場いただいた松山文さんは、「やちむんのラボが楽しかったです。息子のひとは科学に興味を持っており、学校で陶芸をしています。息子にとって、まさに科学と芸術が融合した場だったと思います。OISTが地元沖

縄の陶芸家と連携していることをうれしく思います」と話してくださいました。

更に、オープンキャンパスでは日頃から感じている科学の疑問をOISTの研究者に直接ぶつけることもできました。ご息子のオーエンさんと共にご来場いただいたナイジェル・サンガーさんは、「オープンキャンパスでは科学を実際に体験できるのが魅力です。息子は大学で生物学を専攻したいと考えています。OISTの研究者が知恵を絞ったプログラムが用意されていると感じました。オープンキャンパスに来るのは2度目ですが、前回より体験型のものが増えたように思います」と話してくださいました。また、江本文子さんは「(OISTの人た

ちと) コミュニケーションでき楽しかったです。子どもに優しく教えてくれる人が多くて、来年も子どもを連れて来たいと思いました」とご家族で楽しんでいただけたようでした。

これまでおよそ2年間、株式会社りゅうぎん総合研究所のご厚意により、「りゅうぎん調査」誌面で本学の教育研究や地域連携活動をご紹介する機会をいただきました。本学の取り組みについて一部ですが、読者の

皆さまに知っていただき、ご関心をお寄せいただけたのでしたら幸いに存じます。本学は、沖縄で世界最高水準の科学技術に関する教育研究を行うと同時に、沖縄の発展に寄与することを目指して設立されました。今後も地域に根ざした開かれた大学であるとともに、設立目的達成に向けて、教職員一同一層邁進してまいりますので、ご支援、ご理解の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



OISTではキャンパスツアー(ガイド付もしくは自由見学)を行っています。詳細は地域連携セクション 098(966)2184 までお問い合わせください。

OISTについてより詳しくお知りになりたい方はwww.oist.jp をご覧下さい。

沖縄観光タクシー乗務員資格認定制度

～「ちゅら島沖縄観光タクシー(愛称)」の取り組み～



はじめに

タクシーは、沖縄を訪れる観光客も多く利用する重要な交通手段の一つです。また、乗務員は観光客の“沖縄に対するイメージ”を左右する「沖縄の顔」でもあります。そのため、乗務員の資質及びサービスの向上は、観光立県沖縄にとって非常に重要です。

これを受け、平成18年度より、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(以下OCVB)、一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会、一般社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部の三者で「沖縄観光タクシー乗務員資格認定制度(愛称:ちゅら島沖縄観光タクシー)」に取り組んでいます。

これにより、沖縄県内のタクシー乗務員の資質並びにサービスの向上を図り、タクシー利用者の満足度の向上と、「観光タクシー」の商品価値の確立、新しい観光ニーズへの対応、ひいては沖縄観光の質の向上に寄与することを目指しています。

認定制度の定義

沖縄観光タクシー乗務員とは、無事故・無違反・苦情を受けていない乗務員であり、かつ接遇や観光の知識をもった乗務員のことです。そのレベルに応じて、「ブルーリボン」、「ゴールドリボン」、「プラチナリボン」に区分されます。

＜ブルーリボン マーク＞



「ブルーリボン」乗務員とは、安全運転技能・接遇に優れ、基礎的な観光知識をもつ乗務員のことです。登録者数は314名です(平成27年11月現在)。

＜ゴールドリボン マーク＞



「ゴールドリボン」乗務員とは、安全運転技能・接遇に優れ、幅広い観光知識を有しており、かつ利用者からの要望に応じた行程設定及び案内ができる乗務員のことです。登録者数は76名です(平成27年11月現在)。

＜プラチナリボン マーク＞



「プラチナリボン」乗務員とは、安全運転技能・接客・観光知識ともに優れており、観光タクシー乗務の豊富な経験をもとに、後進の育成について指導者としての役割を担うことができる乗務員のことです。（ゴールドリボン認定を受けて6年以上の観光タクシー乗務経験が必要です。）登録者数は2名です（平成27年11月現在）。

資格認定までの流れ

毎年行う認定試験を受験希望する乗務員は、次の要件を満たすことを確認した上で、所属するタクシー協会に申込みを行う必要があります。なお、本年度は12月に申込み開始、平成28年2月中旬に筆記試験の予定です。

(1) 受験等の要件（一部抜粋）

①全受験者

一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会、一般社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部のいずれかに所属する乗務員であること。

②ブルーリボン

- ・申込み受付時点において、タクシー乗務員として1年以上の経験を有する者。
- ・自動車安全運転センターが発行する運転記録証明書において過去1年間、無事故・無違反である者。
- ・申込み受付時点において、過去1年間、苦情が寄せられなかった者。

③ゴールドリボン

- ・ブルーリボン認定者で、申込み受付時点において、タクシー乗務員として3年以上の経験を有する者。
- ・自動車安全運転センターが発行する運転記録証明書もしくは無事故・無違反証明書において過去3年間、無事故・無違反である者。
- ・申込み受付時点において、過去3年間苦情が寄せられなかった者。

④プラチナリボン

- ・ゴールドリボン取得後、6年以上の経験を有する者。
- ・自動車安全運転センターが発行する運転記録証明書もしくは無事故・無違反証明書において過去5年間、無事故・無違反である者。
- ・運転技能・接客マナー・観光知識などあらゆる面に優れている者。
- ・申込み受付時点において、過去5年間苦情が寄せられなかった者。

(2) 試験前研修、試験までの流れ

受験申込みを行った乗務員に対し、試験実施前に、申込んだ称号に応じて下記の研修を実施します。

- ・ブルーリボン
接客研修（座学）と観光知識研修（座学）を行います。
- ・ゴールドリボンとプラチナリボン
接客・観光知識研修（座学）と実地研修を行います。



事前研修（座学）の様子（平成26年度）



事前研修（実地）の様子（平成 25 年度）

事前研修を行った後、OCVBは全ての受験者に対し、申込んだ称号に応じて下記の試験を実施します。筆記試験問題についてはOCVBが作成する試験問題に対し、有識者を集め試験検討委員会を実施した後、正式に試験問題を決定します。

- ・ブルーリボン…筆記試験
- ・ゴールドリボンとプラチナリボン…筆記試験及び実技試験（面接）

(3) 認定証交付式

筆記試験、実技試験に合格された乗務員に対し、認定証交付式を行います。認定証交付式では、乗務員に対し認定証書、IDカード、車体に貼るステッカーを授与します。



認定証交付式の様子（平成 26 年度）

認定後について

OCVBでは、旅行会社、ホテルなど各業界へ観光タクシーの利用促進を呼びかけています。また、県内各観光施設に対し、観光タクシー乗務員の入場料免除並びに同伴するお客様への団体割引適用を要請しています。さらに、フォローアップ研修やOCVB観光人材育成センターウェブサイトでの紹介等を行っています。

認定者には、その質の維持・向上が求められるため、資格取得後3年ごとに更新手続きおよび研修を受講する必要があります。また、更新手続きの際には、その3年間に無事故・無違反・無苦情の要件を具備する必要があります。

万が一、有資格者に事故・違反等があった場合、審査会を開き、その内容に応じた処分を決定・措置します。

このように、認定を受けた乗務員には常に質の維持・向上に努め、ウチナーらしい「おもてなし」で「感動」を創造していただき、入域観光客数1,000万人の達成と「世界水準の観光リゾート地」の形成に向け、受け入れ体制の充実に貢献いただけることを期待しています。

OCVBでは、引き続き本認定制度を通じてタクシーを利用するお客様の満足度向上に加え、乗務員の皆様にとってもさらに誇りと魅力を感じる業界を目指し、連携を強化していきます。

問い合わせ先
一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 受入推進課

TEL 098-859-6129
<http://visitokinawa.jp>

担当 比嘉、新垣

クレジットカードじゃないから、誰でも使えて安心。

りゅうぎん Visaデビットカード

現金いらずで 即決済

24h OK 365days OK

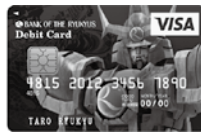
審査不要

満15歳以上(中学生除く)の個人の方がお申込み対象となります。




キャッシュバックキャンペーン実施中!
平成27年10月1日(木)～12月30日(水)

スゴイぞ、デビット。



《サービスについて》【ご利用対象者】契約時の年齢が満15歳以上(中学生を除く)の個人で、当行に普通預金口座をお持ちであること【年会費】500円(税別)※初年度無料。2年目以降は、前年度のご利用実績が5万円以上であれば無料【ご利用シーン】●ショッピング:国内外約3,800万カ所のVisa加盟店(インターネット取引含む) ●海外ATM:海外のVisaマーク、PLUSマークがあるATMでの現地通貨のお引出し ※利用手数料:1回につき200円(税別)、その他為替手数料:利用金額×3.0%【ご利用時間】24時間365日【ご利用限度額】普通預金残高または次のご利用限度額のいずれか低い額。〈1日あたりのご利用限度額(初期設定値)〉国内・海外ショッピング、海外ATM引出し…各50万円

詳しくはりゅうぎん窓口までお問い合わせください。

 琉球銀行
平成27年11月6日現在

HONG KONG

アジア便り 香港 vol.90



レポーター
村井 俊秀 (琉球銀行)
沖縄県香港事務所に出向中
(副所長)

国際的近代都市 香港について

はじめに

皆様こんにちは、沖縄県香港事務所の村井です。師走に入り、アジア便りを読んで頂いている皆様もお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。この時期は気温が下がり体調を崩しやすくなるかと思いますので、くれぐれもご自愛ください。

12月には香港では2つの祝日があります。それはクリスマス(Christmas)とボクシングデー(Boxing Day)です。クリスマスは言わずと知れたイエス・キリストの降誕(誕生)を記念する日ですが、ボクシングデーはあまり聞きなれない祝日だと思います。ボクシングデーとはクリスマスの翌日に貧しい人たちのために教会が寄付を募ったクリスマスプレゼントの箱(Box)を開ける日なのでこの名がつけました。イギリスも香港同様にボクシングデーがありイギリス統治下の名残が今も残っています。

今回は、世界から注目を浴び続けている香港がなぜここまで国際的近代都市に至っているのかをビジネス環境の側面からご紹介したいと思います。

1. 香港のビジネス環境

香港でのビジネスしやすい環境は、その域内の法支配が確立され、自由貿易に代表される開かれた公平な競争環境があることと、確立され

た包括的な金融ネットワークや優れた公共インフラ、多言語労働力を擁する柔軟性の高い労働市場で知られる国際都市だからです。世界の銀行ランク上位100社のうちの約75%が支店を置いており、香港でのビジネスの重要性を裏付けるものとなっています。

2003年、香港は中国との間で経済貿易緊密化協定(CEPA:香港と中国とのFTA)を締結し、2004年1月1日に発効しました。これにより、香港原産製品が中国本土へ輸入される際の輸入関税が免除されるほか、香港のサービス業者、小売業者に対して優先的に中国本土への市場参入が認められるようになりました。

CEPAの規定は国籍的に中立です。そのため、世界中の企業は香港で会社を設立するか、香港企業と提携しCEPAの規定を満たせば、地元の香港企業と同じメリットを享受できます。また、国際金融の観点では同協定により、中国市場に参入しようとする香港の銀行に対する障壁が軽減されました。2004年からは香港での人民元取扱い業務が始まり、2012年からは非香港居住者への各種人民元業務の提供も開始され、国際金融都市として香港は確固たる地位を築いています。

2. 香港進出のメリット・デメリット

一般的に香港で事業展開するには以下のようなメリット・デメリットが考えられます。

<メリット>

1 地理的優位性

香港から飛行機で2時間の圏内に約11億人の人口、5時間の圏内では約29億人という巨大マーケットが存在します。世界人口を72億人とした場合、5時間圏内にその約40%が集まっているという地理的優位性がメリットとして挙げられます。

2 低税率

香港の代表的な税金である直接税は、「事業所得税・給与所得税・不動産所得税」の3種類のみです。

- 「事業所得税」は日本の法人税にあたり、16.5%。
- 「給与所得税」は次の(a)、(b)で計算した金額のいずれか低い方となります。
 - a) 人的所得控除前の純課税対象所得に標準税率15%を乗じた金額。
 - b) 純課税対象所得に2～17%の累進税率を乗じた金額。

- 「不動産所得税」は15%となっています。このような低税率を維持することで、積極的な海外投資の呼び込みを図っています。

また、欠損金の取扱いについても香港では繰越期限の制限が無く、欠損金が存在する限り繰越が認められています。

さらにそれ以外でも以下のような税制が日本とは異なります。

- 配当金・キャピタルゲイン（株式や債券などの資産価格上昇による利益）→非課税
- 消費税、住民税、関税、相続税、贈与税→無し
- 交際費→損金算入制限なし

<デメリット>

1 大規模移設が不向き

香港はその特性でもある「土地が狭く、平地が少ない」ことから工場移設などには向いていません。工場等が元々少ない土地柄だったことから、生産拠点としてのノウハウにも乏しいところです。また、不動産価格高騰のため設備投資に多額の費用を要します。

最後に

このように、メリットばかりではありませんが、香港は世界の企業が進出しやすい環境が整っているといえます。しかしながら、それは日々激しい競争下にさらされていることも意味しています。誰でもチャレンジできる環境であることが香港の最大の魅力ではないでしょうか。

今回は、当所が携わったイベントについてご紹介させていただきます。



🔊 入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を实践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

サービスのご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供
ビジネスクラブ会員企業トップと弊行役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

【最近の実績】

- H27. 2.26 森永卓郎氏「トップセミナー」
- H27. 6. 3 若手営業担当者向けセミナー
- H27. 8. 4 管理職向けリーダーシップセミナー
- H27.10.20 経営者層向けセミナー

■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。
※別途受講料が必要になります。

【著名な講師例】

- ・第1期 酒巻 久 キヤノン電子㈱社長
- ・第2期 鈴木 喬 エステー㈱会長
- ・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険㈱会長兼CEO
- ・第4期 宗次 徳二 ㈱志番屋 創業者特別顧問
- ・第5期 高田 明 ㈱A and Live 代表取締役
(ジャバネットたかた 前社長)

■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

【内容例】

- ・部下をやる気にさせる上司のひと言
- ・どんな仕事もうまくいく「気づかい」の習慣

■「りゅうぎんビジネスフラッシュ」定期配信

税務・会計・法務・人事・労務など、経営のお役に立つ情報レターを毎週FAX配信いたします。

【内容例】

- ・「最少時間」で「最高の結果」を出す！
- ・若手社員向け・簡単な「経営指標」の見方

■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。

※1社につき年1回ご利用になれます。

■りゅうぎんビジネスサイトによる経営情報等の提供¹

「会員専用サイト」を利用した、タイムリーな各種経営情報の提供をおこなっております。

【内容例】

- ・産業別ニュース21
- ・ビジネスレポート
- ・経営課題解決ナビ
- ・ビジネスマッチング

その他のサービス

■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品(ベストサポーター、順風満帆)について、融資金利の優遇を実施しております²。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ
入会申込方法
年会費 20,000円

- 1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」及び「りゅうぎんビジネスサイト利用申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。
- 2 入会金は不要です。
- 3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行コンサルティング営業部内)
TEL:098-860-3817 (担当:楊、真栄城)までお願いいたします。

¹ 別途りゅうぎんビジネスサイトへの申込(無料)が必要になります。

² 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

沖縄総合事務局経済産業部の 最近の取組について 沖縄ものづくり海外展開活動展 を開催しました

沖縄総合事務局では、10月23日(金)～25日(日)に開催されました「第39回沖縄の産業まつり」内において、沖縄県立武道館錬成道場棟にて「沖縄ものづくり海外展開活動展～世界に羽ばたけ！オンリーワン技術とうちなーむん～」を開催いたしました。

本イベントでは、県内のものづくり系企業による海外展開の活動状況を広く紹介することを目的に、県内企業、海外展開支援機関によるパネル展、海外展開をテーマにしたステージイベントを行いました。

1 パネル展の開催

一般県民の皆様にも海外ビジネス交流の進展や、それに伴う環境の変化等について理解を深めていただく機会とし、さらに、出展企業の技術力等に関心を持つ企業との新たなビジネス創出、新規海外展開案件の発掘の機会とするため、パネル展コーナーを設置いたしました。

主に(1)環境・エネルギー分野等展示ブース、(2)海外展開支援機関紹介ブース、(3)海外輸出県産品展示コーナーから構成され、各社それぞれの取り組み内容のパネルや商品展示、DVD上映等を行いました。30社近くの企業にご参加いただき、世界へ向けて羽ばたくアグレッシブな、沖縄の人、企業、技術、県産品等が一堂に介する展示となり、多くの方にご来場いただきました。



パネル展の様子 (1)

2 ステージイベントの実施

会場中央のステージにおいては、企業、海外展開支援機関による事業PRのほか、国内外で広く活躍する方々に海外での体験談や苦労、海外に対する思いを語っていただきました。



パネル展の様子 (2)


WPMFミニフライ級チャンピオン 田嶋はる氏によるトークセッションや、Ryukyufrogsによる、参加学生とのトークショー等、ものづくり企業だけではなく、沖縄の地から海外を目指す方々にもご登壇いただきました。

本イベントは、県内事業者や県民に海外展開への理解と共感を得ていただくとともに、今後海外展開を予定している企業や個人の方へのモチベーションアップに繋がるような、素晴らしい機会となりました。

今後も沖縄総合事務局では、沖縄の企業の海外展開活動を支援してまいります。ご相談・お問い合わせの際は下記までお気軽にご連絡ください。



WPMFミニフライ級チャンピオン
田嶋はる氏によるトークセッション

 内閣府沖縄総合事務局
経済産業部

■本記事に関するお問い合わせについて
内閣府沖縄総合事務局
経済産業部 地域経済課
商務通商課国際室

TEL : 098-866-1730 (地域経済課)

<http://ogb.go.jp/keisan/index.html>

県内大型プロジェクトの動向

事業名：うるま市統合庁舎建設事業

種別：(公共) 民間 3セク

関係地域	うるま市
事業主体	主体名：うるま市 住 所：沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号 電 話：098-973-5062(総務部庁舎建設室)
事業目的	・分庁方式で事務事業を行ってきたが行政機能が各庁舎に分散していることで、手続等で市民への不便や施設の維持管理コストなどの課題が生じていることから、課題を解消し市民の利便性をはじめとする行政サービスの向上を図るため「人と環境に優しいシンプルで機能的な庁舎」を基本構想のテーマとし、今後のうるま市の街づくりの拠点となる統合庁舎を整備する。
事業期間	平成25年10月～平成27年11月
事業規模	延床面積13,127㎡の市役所庁舎
事業費	約48億円
事業概要	<p>所在地：沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号ほか 施設名称：うるま市庁舎(新庁舎) 施設用途：市役所庁舎 主要用途：事務所、自動車車庫 構 造：鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造(免震構造) 建築面積：4,946.12㎡ 延床面積：13,127.00㎡ 各階床面積：屋上階455.85㎡、3階2,597.41㎡、2階3,060.96㎡、 1階3,501.62㎡、地階3,511.82㎡ 規 模：地下1階、地上3階 高 さ：16.69m 駐 車 場：97台(うち身障者等用7台)</p> <p>■フロアプラン</p> <p style="text-align: right;">(うるま市総務部庁舎建設室提供)</p>
経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年5月 第1回統合庁舎建設検討内部調査委員会開催(平成20年11月までに3回開催) 平成22年2月 第1回うるま市統合庁舎建設委員会開催(平成23年3月の答申までに7回開催) 平成23年3月 うるま市統合庁舎基本構想策定 平成23年11月 うるま市統合庁舎基本構想改訂 平成24年3月～平成25年8月 基本設計、実施設計 平成25年10月 庁舎建設工事着工

<p>現況及び見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うるま市は、平成17年4月の合併以来、旧市町(具志川市、石川市、勝連町、与那城町)の庁舎を活用し分庁方式で事務事業を行ってきたが、行政機能が各庁舎に分散していることで、手続等で市民への不便や施設の維持管理コストなどの課題が生じている。 ・これらの課題を解消し、市民の利便性をはじめとする行政サービスの向上を図る必要性から、下の4つを基本理念として掲げ、新しい庁舎の建設を推進し、今後のうるま市の街づくりの拠点となる統合庁舎を整備する。 <p>■施設の基本構想のテーマと基本理念</p> <p>基本構想のテーマ 人と環境に優しい、シンプルで機能的な庁舎</p> <p>基本理念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市民にやさしく親しまれる庁舎 2 環境に配慮し、市民の安心安全な生活を支援 3 市民の一体感を醸成し、市民との協働を支援 4 社会の変化に対応し、便利で経済的な庁舎をめざす <ul style="list-style-type: none"> ・現本庁舎から新庁舎への引っ越しが平成27年12月29日から平成28年1月3日にかけて行われ、その後、平成28年5月に石川庁舎等各関係施設から改修後の現本庁舎へ引っ越しが行われる。
<p>進捗状況</p>	<p>・12月26日に落成式を執り行い、平成28年1月4日に供用を開始する予定である。</p>
<p>熟 度</p>	<p><input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input type="checkbox"/> 工事段階 <input checked="" type="checkbox"/> 開業・供用段階</p>

パース図①



パース図②



(うるま市総務部庁舎建設室提供)

●りゅうぎん調査● 県内の

景気
動向
概況 2015年10月

景気は、拡大の動きが強まる

消費関連では、スーパーが前年を上回る

観光関連では、入域観光客が前年を上回る

10月の県内景気を見ると、消費関連では、百貨店は催事効果などから引き続き前年を上回り、スーパーは、前年より営業日数が多かったことなどから引き続き前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は軽自動車の動きが鈍かったことなどから引き続き前年を下回った。電気製品卸売は、高単価商品が好調だったことなどから前年を上回った。

建設関連では、公共工事は国発注工事の増加や都市再開発事業から前年を上回った。建築着工床面積（9月）は前年を上回り、新設住宅着工戸数（9月）も貸家の増加などから引き続き前年を上回った。建設受注は、公共工事、民間工事ともに増加したことから前年を上回ったが、資材関連は前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数は、国内客、外国客ともに大幅に増加したことから、引き続き前年を上回った。主要ホテルでは、売上高、宿泊収入、稼働率ともに前年を大幅に上回った。

総じてみると、消費関連、観光関連が好調に推移し、建設関連も概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。



消費関連

百貨店売上高は、催事効果や販促効果などにより18カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、営業日数や休日数が前年より多かったことや外国人観光客の消費が好調なことより7カ月連続で前年を上回った。新車販売は、引き続き軽自動車の動きが鈍く3カ月連続で前年を下回った。電気製品卸売販売額は、新商品などの高単価の商品などが好調だったことより2カ月連続で前年を上回った。

先行きは、高い消費マインドや観光客の増加などから引続き好調を維持するとみられる。



建設関連

公共工事請負金額は、国や都市再開発事業の大型工事発注により2カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積(9月)は、5カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数(9月)は、貸家の増加などにより5カ月連続で前年を上回り、引き続き高水準で推移している。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから2カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンは反動減などにより前年を下回り、鋼材、木材も住居関連工事向け出荷の減少などからともに前年を下回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。



観光関連

入域観光客数は、37カ月連続で前年を上回った。国内客は2カ月連続で増加し、外国客は27カ月連続で前年を上回った。方面別では東京、韓国、関西、中国本土などからの入域が観光客数増加に寄与した。

県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入、宿泊客室単価いずれも前年を上回った。主要観光施設入場者数は20カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに3カ月連続で増加した。

先行きは、外国客を中心とした旺盛な旅行需要を背景に好調に推移するものとみられる。



雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比23.7%増と2カ月ぶりに前年を上回り過去最高となった。有効求人倍率(季調値)は、0.89倍と前月より0.01ポイント上昇し、本土復帰後の最高値を更新した。産業別にみると、医療・福祉、サービス業、宿泊業・飲食サービス業などは増加したが、公務・その他などは減少した。完全失業率(季調値)は5.5%と前月より0.4%ポイント悪化した。

消費者物価指数(総合)は、食料や住居などが上昇したが、交通・通信や光熱・水道などが下落したことから、前年同月と同水準だった。

企業倒産は、件数が3件で前年同月を8件下回った。負債総額は3億3,300万円となり、同57.0%の減少であった。

2015.10 りゅうぎん調査

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2015.8-2015.10)
消費関連		
(1) 百貨店(金額)	12.3	20.3
(2) スーパー(既存店)(金額)	3.2	4.2
(3) スーパー(全店)(金額)	6.4	7.3
(4) 新車販売(台数)	▲ 6.1	▲ 5.2
(5) 電気製品卸売(金額)	13.8	2.4
建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	74.7	24.5
(2) 建築着工床面積(m ²)	(9月) 16.5	(7-9月) 23.7
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(9月) 17.4	(7-9月) 17.6
(4) 建設受注額(金額)	58.9	44.9
(5) セメント(トン数)	▲ 0.2	5.1
(6) 生コン(m ³)	▲ 5.9	2.3
(7) 鋼材(金額)	▲ 11.5	▲ 14.1
(8) 木材(金額)	▲ 14.2	▲ 10.7
観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	18.9	12.2
うち外国客数(人数)	54.7	61.7
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 8.8	(前年同期差) 3.8
	(実数) 84.9	(実数) 87.1
(3) " 売上高(金額)	17.9	11.1
(4) 観光施設入場者数(人数)	13.6	10.1
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	21.3	10.0
(6) " 売上高(金額)	25.0	11.9
その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	23.7	9.4
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 0.89	(実数) 0.88
(3) 消費者物価指数(総合)	0.0	▲ 0.1
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 8	(前年同期差) ▲ 2.7
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	▲ 3.3	▲ 1.6

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

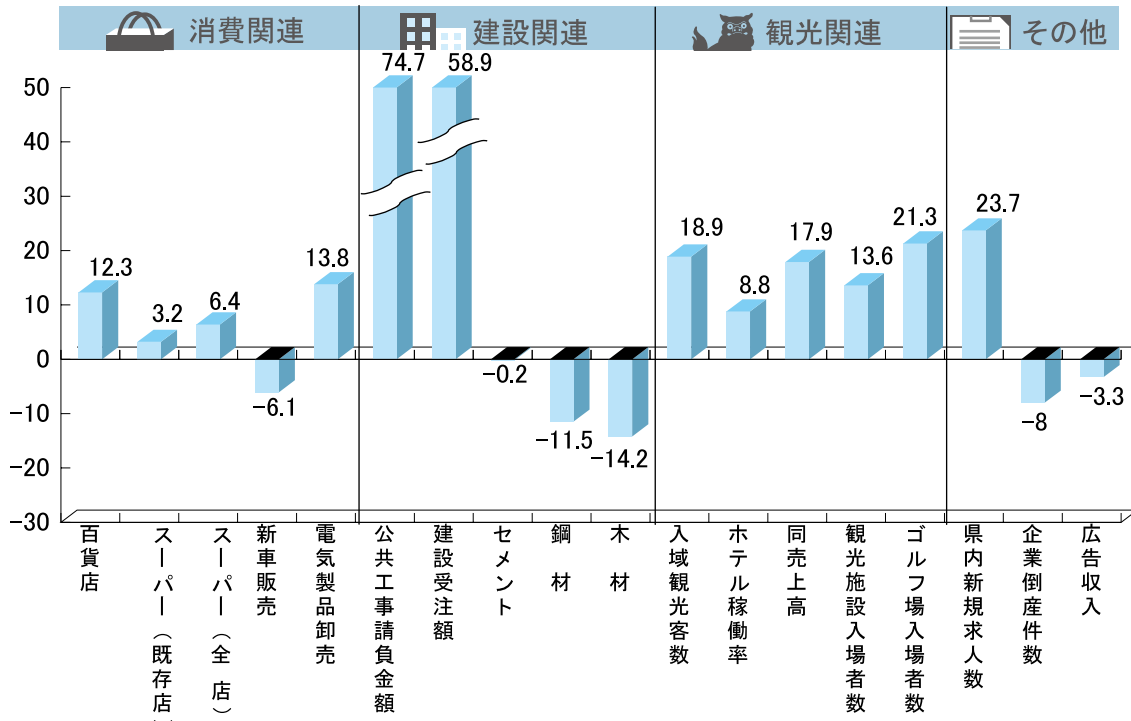
(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2014年10月より調査先を25ホテルから27ホテルとした。

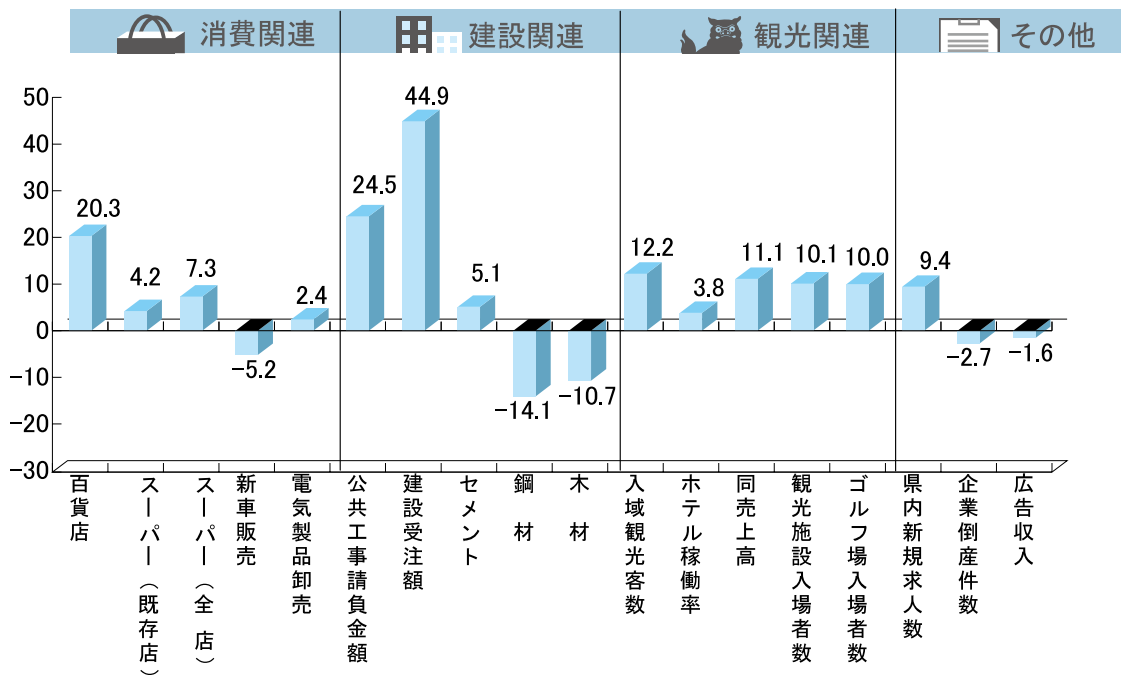
(注5) 企業倒産の前年同月差は、月平均の前年同月差。

項目別グラフ 単月 2015.10



(注) 広告収入は15年9月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

項目別グラフ 3カ月 2015.8~2015.10



(注) 広告収入は15年7月~15年9月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

消費関連

建設関連

観光関連

その他

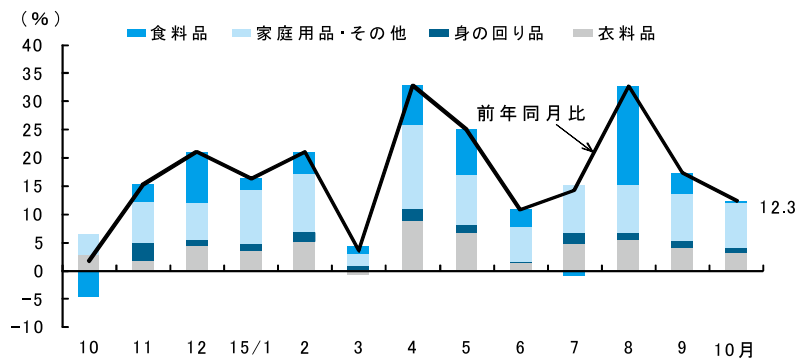
消費関連

① 百貨店売上高 (前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

18カ月連続で増加

- 百貨店売上高は、催事などにより全館への回遊効果がみられ、前年同月比12.3%増と18カ月連続で前年を上回った。衣料品は、催事効果や販促効果などにより秋物商品などが好調に推移した。食料品は堅調に推移し、身の回り品や家庭用品・その他は催事効果や外国人観光客による消費が好調なことなどから増加した。
- 品目別にみると、食料品(同1.5%増)、衣料品(同8.1%増)、家庭用品・その他(同25.2%増)、身の回り品(同10.8%増)と全品目で増加した。

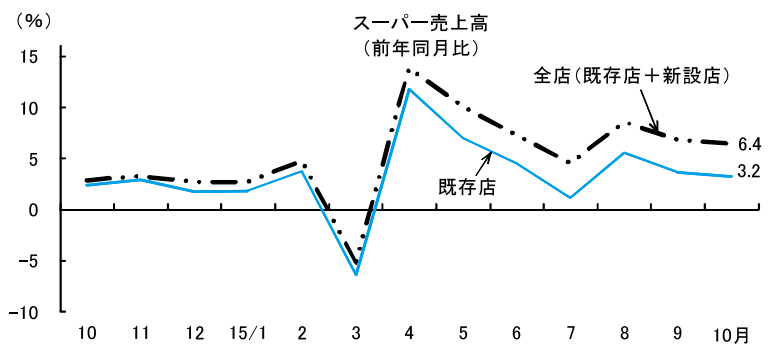


(注)2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。
出所:りゅうぎん総合研究所

② スーパー売上高 (前年同月比)

全店ベースは7カ月連続で増加

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比3.2%増と7カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、前年は台風に伴う休業があり、営業日数が多かったことより同1.7%増となった。衣料品は、前年より営業日数や休日が多かったことより秋・冬物商品が好調に推移し同6.5%増となった。家電を含む住居関連は外国人観光客の消費が好調なことより同9.0%増だった。
- 全店ベースでは6.4%増と7カ月連続で前年を上回った。



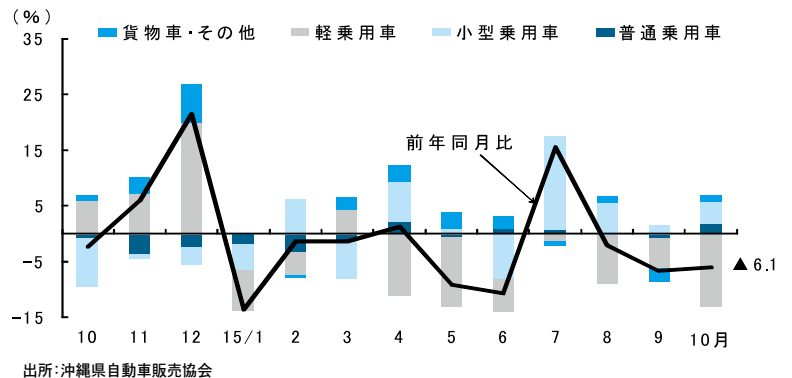
出所:りゅうぎん総合研究所

③ 新車販売台数 (前年同月比)

※棒グラフは車種別寄与度

3カ月連続で減少

- 新車販売台数は2,961台となり、前年同月比6.1%減と3カ月連続で前年を下回った。普通自動車は前々年に新型車投入効果などで需要が伸び、前年が落込んだことによる反動増となったが、軽自動車は販売の動きが鈍く前年を下回った。
- 普通自動車(登録車)は1,259台(同23.3%増)で、うち普通乗用車は389台(同19.3%増)、小型乗用車は641台(同23.5%増)であった。軽自動車(届出車)は1,702台(同20.1%減)で、うち軽乗用車は1,364台(同23.1%減)であった。



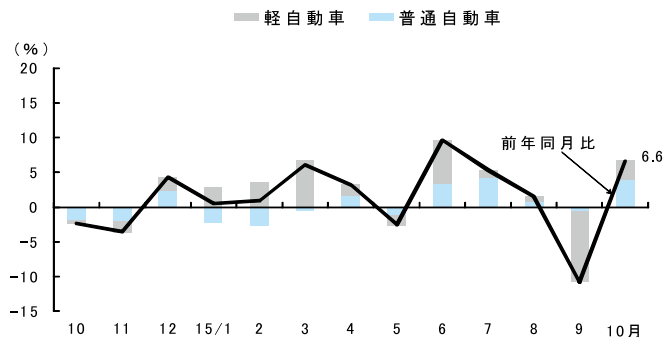
出所:沖縄県自動車販売協会

④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

2カ月ぶりに増加

- ・中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万7,647台で前年同月比6.6%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は6,885台（同10.1%増）、軽自動車は10,762台（同4.5%増）となった。



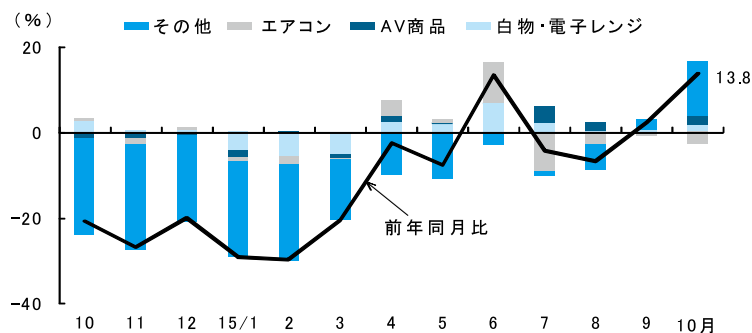
出所：沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

⑤ 電気製品卸売販売額（前年同月比）

※棒グラフは品目別寄与度

2カ月連続で増加

- ・電気製品卸売販売額は、冷蔵庫やテレビなどの高単価商品の販売が好調だったことなどから前年同月比13.8%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではテレビが同26.4%増、DVDレコーダーが同3.9%増、白物では洗濯機が同6.9%増、冷蔵庫が同15.1%増、エアコンが同30.8%減、太陽光発電システムを含むその他は同21.2%増となった。



出所：りゅうぎん総合研究所 (注)2010年4月より調査先が7社から4社となった。

消費
関連

建設
関連

観光
関連

その他

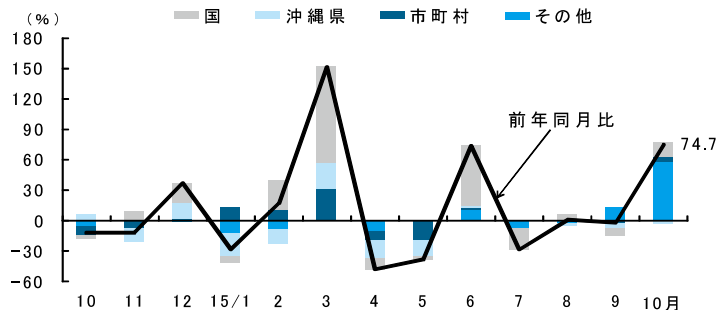
建設関連

① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

2カ月ぶりに増加

- ・公共工事請負金額は、483億100万円で前年同月比74.7%増となり、国や都市開発事業の大型工事発注から大幅に増加し、2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・発注者別では、国(同67.7%増)、独立行政法人等・その他(同1,285.2%増)、市町村(同10.8%増)が増加し、県(同7.7%減)が減少した。
- ・大型工事としては、与那国駐屯地新設建築工事、モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業(北工区)などがあった。



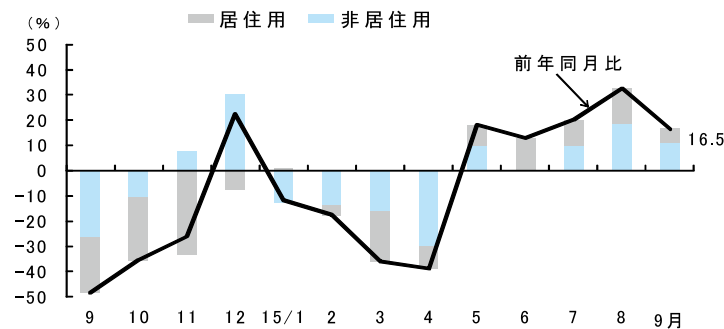
出所:西日本建設業保証株式会社沖縄支店

② 建築着工床面積 (前年同月比)

※棒グラフは用途別寄与度

5カ月連続で増加

- ・建築着工床面積(9月)は15万8,954㎡となり、居住用、非居住用ともに増加したことから、前年同月比16.5%増となり、5カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用は同8.2%増、非居住用は同33.8%増となった。
- ・建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、医療、福祉用、教育学習支援業用などが増加し、金融・保険業用などが減少した。



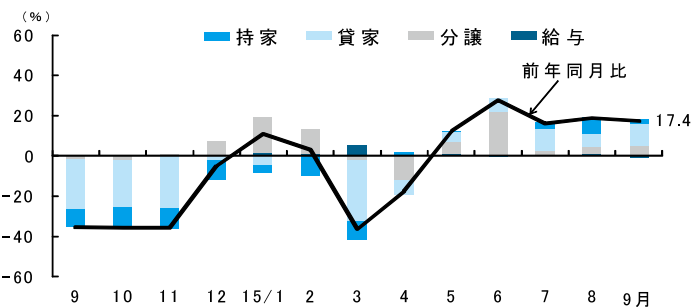
出所:国土交通省

③ 新設住宅着工戸数 (前年同月比)

※棒グラフは利用関係別寄与度

5カ月連続で増加

- ・新設住宅着工戸数(9月)は1,527戸となり、貸家、持家、分譲が増加したことから、前年同月比17.4%増と5カ月連続で前年を上回った。貸家の着工を中心に高水準で推移している。
- ・利用関係別では、貸家(1,117戸)が同14.2%増、持家(281戸)が同13.8%増、分譲(124戸)が同103.3%増と増加し、給与(5戸)が同66.7%減と減少した。



出所:国土交通省

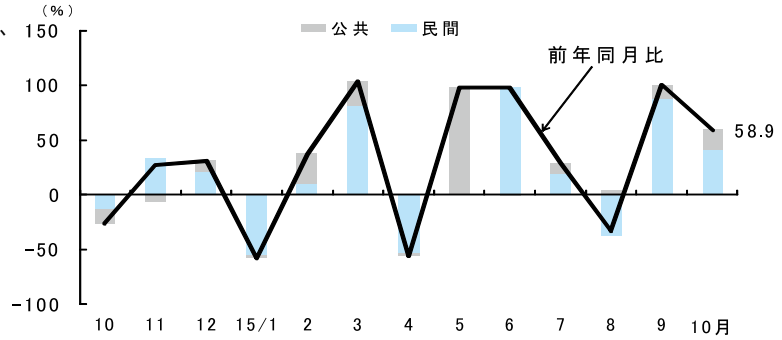
消費関連
建設関連
観光関連
その他

④ 建設受注額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

2カ月連続で増加

- ・建設受注額(調査先建設会社:20社)は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比58.9%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、公共工事(同39.0%増)は4カ月連続で増加し、民間工事(同77.1%増)は2カ月連続で増加した。

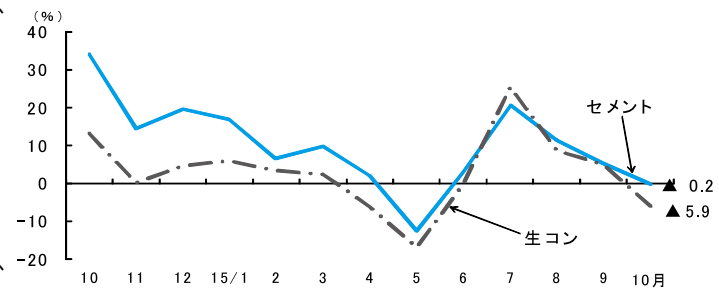


出所:りゅうぎん総合研究所

⑤ セメント・生コン(前年同月比)

セメントは5カ月ぶりに減少、 生コンは4カ月ぶりに減少

- ・セメント出荷量は8万9,233トンとなり、前年同月比0.2%減と5カ月ぶりに前年を下回った。
- ・生コン出荷量は16万670m³で同5.9%減となり、前年の反動減などから4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公営住宅関連工事向け出荷などが増加し、県企業局や学校関連工事向け出荷などが減少した。民間工事では、分譲マンション関連工事向けなどが増加し、貸家や商業施設向け出荷などが減少した。

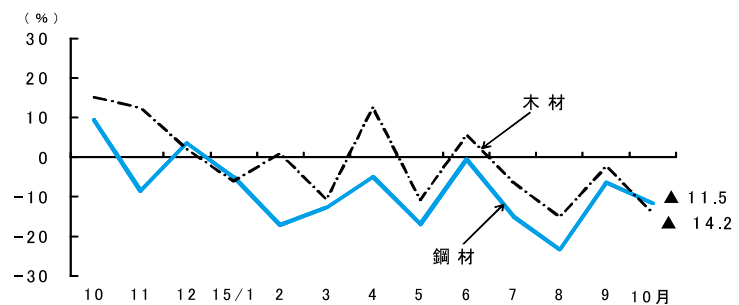


出所:りゅうぎん総合研究所

⑥ 鋼材・木材 (前年同月比)

鋼材は10カ月連続で減少、 木材は4カ月連続で減少

- ・鋼材売上高は、住宅関連工事向け出荷の減少や単価の低下などから、前年同月比11.5%減と10カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高も、住宅関連工事向け出荷の減少などから同14.2%減と4カ月連続で前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

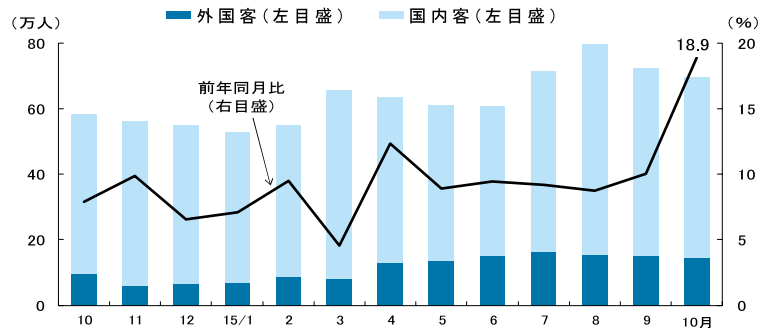


観光関連

① 入域観光客数(実数、前年同月比)

37カ月連続で増加

- ・10月の入域観光客数は、前年同月比18.9%増の69万6,800人と、37カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客いずれも増加した。国内客は、同12.1%増の55万1,700人となり2カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別でみると、空路は、国内客、外国客ともに増加し、65万1,300人(同17.9%増)と37カ月連続で前年を上回った。海路は、国内客、外国客ともに増加し、4万5,500人(同34.6%増)と5カ月連続で前年を上回った。

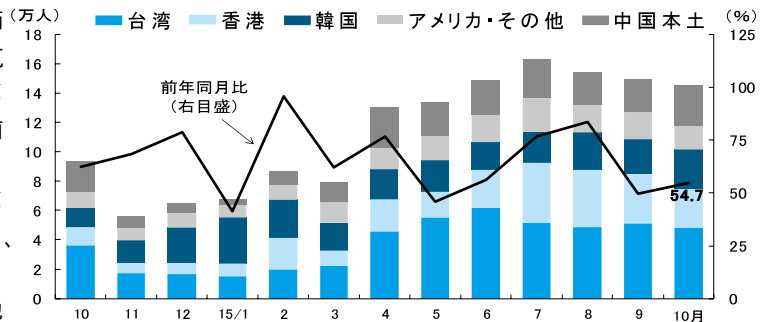


出所:沖縄県観光政策課

② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

27カ月連続で増加

- ・10月の入域観光客数(外国客)は、国慶節などの連休による旅行需要の高まりや航空路線の拡充などから前年同月比54.7%増の14万5,100人となり、27カ月連続で前年を上回った。
- ・国籍別では、台湾4万8,400人(同33.7%増)、中国本土2万6,100人(同110.5%増)、韓国2万7,000人(同106.1%増)、香港1万6,200人(同47.3%増)、アメリカ・その他2万7,400人(同29.9%増)であった。

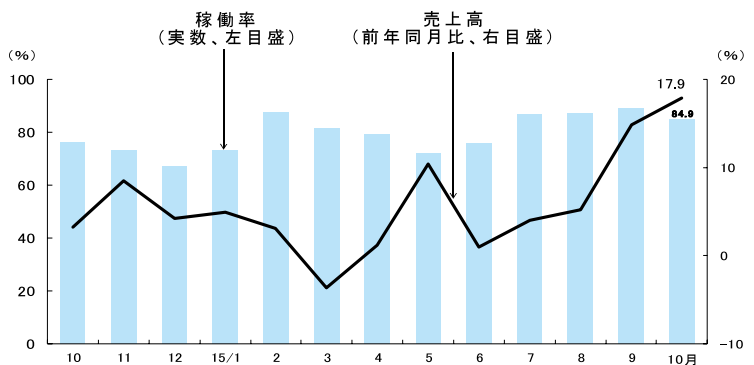


出所:沖縄県観光政策課

③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

稼働率は7カ月連続で上昇、売上高は7カ月連続で増加

- ・主要ホテルは、客室稼働率は84.9%となり、前年同月比8.8%ポイント上昇し7カ月連続で前年を上回った。売上高は同17.9%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルは、客室稼働率は82.9%と同7.4%ポイント上昇し7カ月連続で前年を上回り、売上高は同14.9%増と7カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は86.0%と同9.6%ポイント上昇し3カ月連続で前年を上回り、売上高は同19.2%増と6カ月連続で前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所 (注)14年10月より調査先を25ホテルから27ホテルとした。

消費関連

建設関連

観光関連

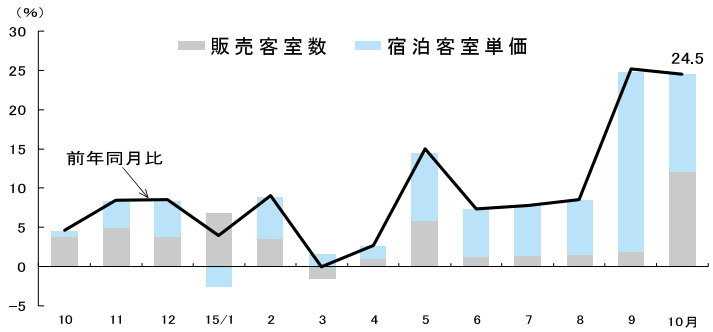
その他

④ 主要ホテル宿泊収入 (前年同月比)

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

7カ月連続で増加

- ・主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数(数量要因)、宿泊客室単価(価格要因)いずれも増加したことから、前年同月比24.5%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに増加し、同21.1%増と20カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに増加し、同25.8%増と6カ月連続で前年を上回った。

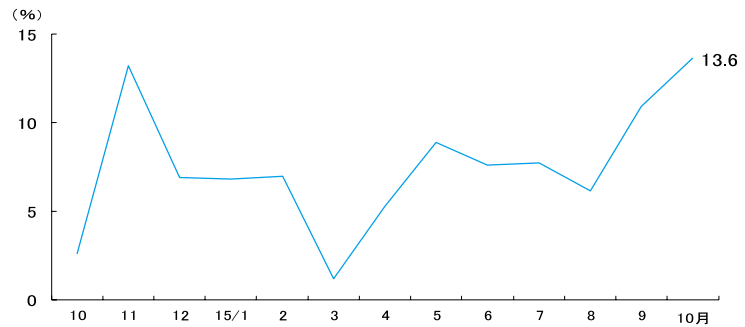


出所:りゅうぎん総合研究所 (注)14年10月より調査先を25ホテルから27ホテルとした。

⑤ 主要観光施設の入場者数(前年同月比)

20カ月連続で増加

- ・主要観光施設の入場者数は、前年同月比13.6%増となり、20カ月連続で前年を上回った。

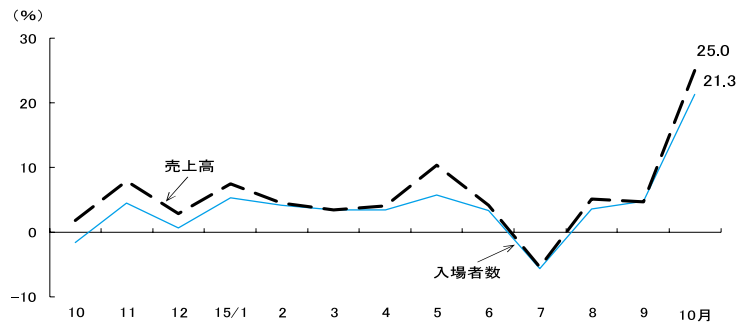


出所:りゅうぎん総合研究所

⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高(前年同月比)

入場者数は3カ月連続で増加、 売上高は3カ月連続で増加

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、県外客の増加や前年が台風の影響を受けた反動などにより前年同月比21.3%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・売上高は同25.0%増と3カ月連続で前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

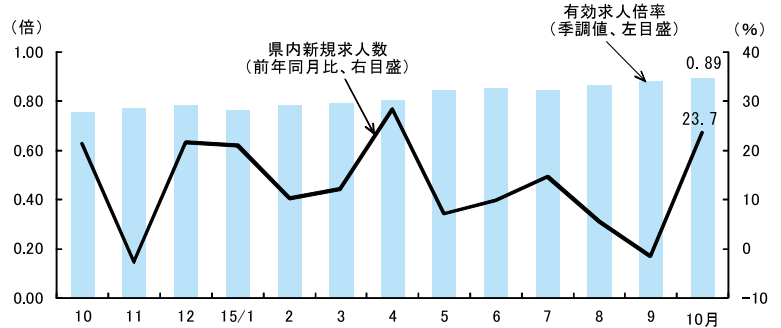


雇用関連・その他

① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

新規求人数は増加、有効求人倍率(季調値)は上昇

- ・新規求人数は、前年同月比23.7%増となり2カ月ぶりに前年を上回り、過去最高となった。産業別にみると、医療・福祉、サービス業、宿泊業・飲食サービス業などは増加したが、公務・その他などで減少した。有効求人倍率(季調値)は0.89倍と、前月より0.01ポイント上昇し、本土復帰以降の最高値を3カ月連続で更新した。
- ・労働力人口は、70万9,000人で同2.9%増となり、就業者数は、67万4,000人で同3.1%増となった。完全失業者数は3万5,000人で同2.9%増となり、完全失業率(季調値)は5.5%と前月より0.4%ポイント悪化した。



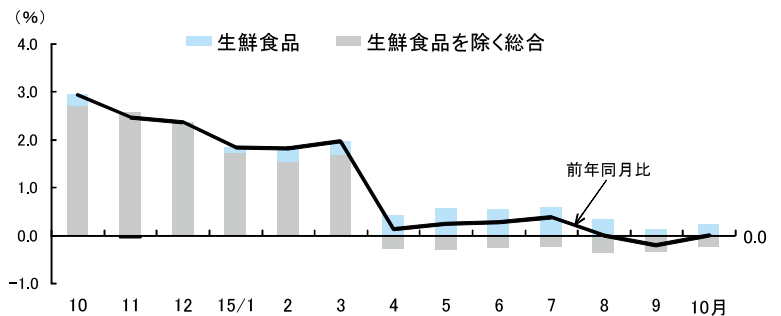
出所：沖縄労働局
 (注)有効求人倍率は、2014年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

同水準

- ・消費者物価指数は、前年同月と同水準だった。生鮮食品を除く総合は同0.2%減と前年を下回った。
- ・品目別の動きをみると、食料や住居などが上昇し、交通・通信、水道・光熱などは下落した。

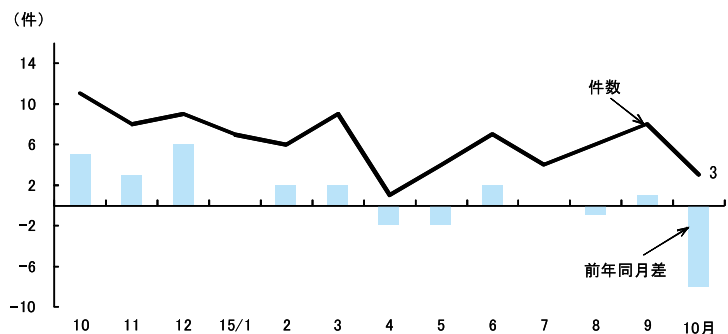


出所：沖縄県(注1)端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。
 (注2)2011年7月より2010年=100に改定された。

③ 企業倒産

件数、負債総額ともに減少

- ・倒産件数は、3件で前年同月を8件下回った。業種別では、建設業1件(同2件減)、製造業2件(同1件増)であった。
- ・負債総額は、3億3,300万円となり、前年同月比57.0%の減少だった。



出所：東京商工リサーチ沖縄支店

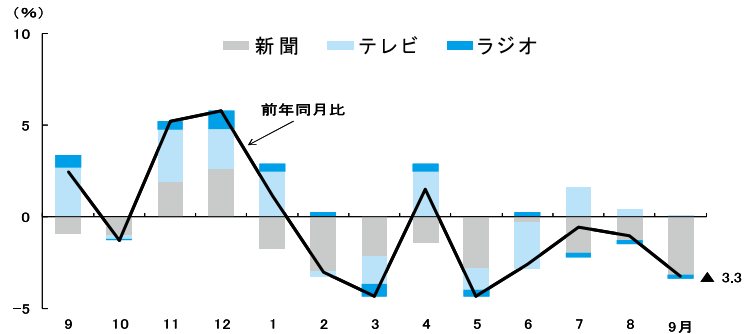
消費関連
 建設関連
 観光関連
 その他

④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

5カ月連続で減少

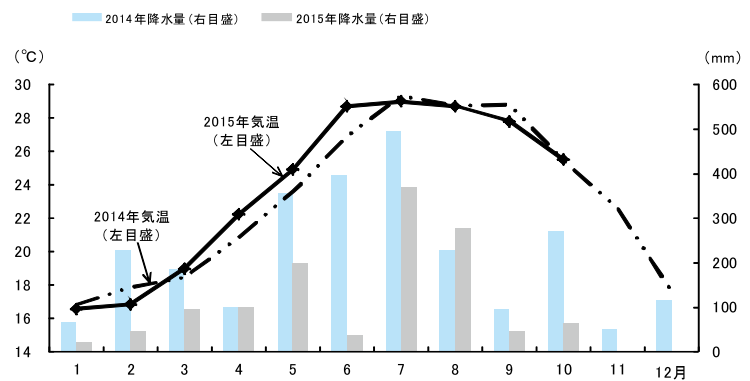
・広告収入(マスコミ:9月)は、前年同月比3.3%減となり、5カ月連続で前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は25.5℃となり、平年(25.2℃)、前年同月(25.4℃)より高かった。降水量は63.5mmと前年同月(269.0mm)より少なかった。
- ・沖縄地方は、概ね高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量は少なかった。中旬前半は大陸からの冷たい空気の影響により気温は低かったが、中旬後半以降は暖かい空気に覆われ気温が上がった。



出所:沖縄気象台

消費関連

建設関連

観光関連

その他



宜野湾市の発展

自動車販売 街道に活気

琉球銀行 宜野湾支店長
伊東 和美

宜野湾市は本島中央に位置し、「ねたての都市(まち)」をキャッチフレーズにしています。「ねたて」とは、「おもろさうし」に出てくる言葉で「物事の根元」「共同体の中心」を意味しているそうです。

人口は増加しており、2014年12月末で9万5千676人と県内5番目の規模になっています。人口密度では那覇市、浦添市に次ぐ3番目の高さです。

産業別就業者数をみると、圧倒的に第3次産業が多く84%を占め、第2次産業が15%、第1次産業が1%となっています。

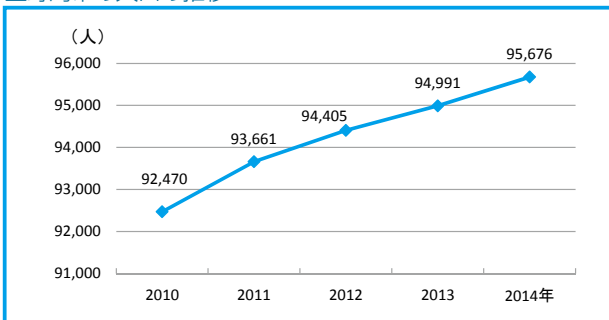
業種別では卸売・小売が19%、医療・福祉が13%です。コンベンションシティとして発展著しい宜野湾市ですが、喜友名泉、大山貝塚、小禄墓、森の川、普天間宮洞穴など指定文化財も多く、文化のまちとしても知られています。

少し視点を変えると、別の文化も発展しているようです。私の職場は国道330号沿いにあるのですが、この辺りは通称「宜野湾中古車街道」と呼ばれています。志真志から野嵩に至る約4キロメートル沿いに、ざっと数えても30ヵ所あまりの自動車販売店が軒を連ね、活気をみせています。

なぜこの地に集中しているのでしょうか。今で言うロードサイドの出店スタイルが早くからこの地で始まったのが理由の一つと推察されます。興味深いことに、この「街道」には病院やクリニック、介護関連施設も数多く並んでいます。

「街道」の活気とともに宜野湾市が発展してきた様子がかがわれます。

宜野湾市の人口の推移



出所：宜野湾市ホームページ



無形民俗文化財

観光に活用 文化伝承へ

琉球銀行 泊支店長
菊地 毅

那覇市民会館で10月4日、那覇市指定の無形民俗文化財を中心に伝統芸能が一堂に会するイベント「地域文化芸能公演」が開催されました。

那覇市指定の無形民俗文化財には「首里汀良町の獅子舞」「字安里のフェーヌシマ」「首里のクーナ」などがあり、「泊地バーリー」もその一つです。泊地バーリーは、1915年に泊村新屋敷青年団によって始められたとされます。

泊地バーリー研究会・とまり会青年部の方々が伝承者となり、主に地域のイベントで披露され、とまり会主催の合同祝賀会では結びの演目として花を添えています。

舞台上で爬龍船をかたどり、鐘打ちに合わせて一糸乱れずに力強くかいを漕ぐ姿は、海上を疾走する爬龍船と見まがう迫力で、空手との渾身のコラボレーションは見る人の魂を強く揺さぶります。

当県には無数の自然・文化資産が存在し、観光資源の豊富さでは他の地域を圧倒しています。なかでも泊地バーリーは、県外のそれらとは“リズム”“色彩”“迫力”で一線を画する魅力にあふれています。沖縄が大好きな県外や海外のヘビーリピーターの方々の“大好物”であるのは間違いありません。

これらの貴重な無形民俗文化財が地域の伝統行事にとどまることなく、観光分野における文化資源としてより有効に活用されることが今後期待されます。そうなれば地域の一層の発展につながると同時に、貴重な文化財が次世代に確実に伝承されるという好循環が生まれるはずで

那覇市指定無形民俗文化財

名称	所在地
首里汀良町の獅子舞	那覇市首里汀良町獅子舞保存会
首里末吉町の獅子舞	那覇市首里末吉町獅子舞保存会
泊地バーリー	泊地バーリー研究会
字安里のフェーヌシマ	安里南之島保存会
字安次嶺の村踊り	安次嶺村踊り保存会
字国場のウズンビーラ	国場民俗芸能保存会
首里のクーナ	首里クーナ保存会
首里王府の路次楽	沖縄県民俗芸能路次楽保存会
字大嶺の獅子舞	字大嶺向上会
字大嶺の地バーリー	字大嶺向上会

出所：那覇市ホームページ



改正農地法

農業の所得増加に期待

琉球銀行 審査部 次長
真壁 朝之

農業生産法人とは、農業経営を行うために農地を取得できる法人のことを言い、農事組合法人、株式会社、合同会社、合名会社、合資会社の形態があります。

今夏の国会で、農地を所有できる農業生産法人の要件緩和を柱とした「改正農地法」が成立しました。主な内容は、出資者数に占める農業関係者数の割合の引き下げ、農作業に従事する役員数の割合の引き下げなどで、2016年4月から施行されます。これによって全国各地で行われている農業の6次産業化が進展すると見込まれ、農業所得の増大につながると期待されています。

一方、急速な規制緩和によって企業の参入が目的化し、過剰な経営支配を招かないかという慎重な意見もあります。「あくまでも農業者の所得増大に結びつく」ことが改正の趣旨といわれています。

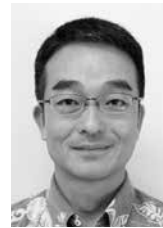
これまでに農業に参入した全国の企業数をみると、09年12月時点が436社、14年12月が1,712社となっています。沖縄県は14年12月現在で25社となっています。今回の改正で一層の増加が予想されます。

今回の改正では、農業生産法人という名称から「農地所有適格法人」に変更することも決まりました。農地を所有できる法人であることを直接的に表す名称となっています。

改正内容の主要点は表のとおり、議決権・役員・事業の3つです。今後、農地の適正な利用の促進、生産性の向上、6次産業化の進展を通じて農業者の所得が増大することが期待されています。

農業生産法人制度の主な変更点

	名称	議決権	役員	事業
旧	農業生産法人	農業関係者が3/4以上、継続的取引関係者1/4以下	①役員の過半数が農業に常時従事していること ②かつ、過半数が農作業に従事していること	農業の売上高が過半数であること
新	農地所有適格化法人	農業関係者が1/2超、農業関係者以外の者が1/2未満で可	①変更なし ②役員が重要な使用人の1人以上が農作業に従事していること	変更なし



NISA

商品知り リスクは分散

琉球銀行 営業統括部リアル業務課上席調査役
城間 章

「NISA（ニーサ）」とは少額投資非課税制度の愛称で、銀行や証券会社等の金融機関で株式や投資信託等を購入した際の配当金や売買益等が非課税となる税制のことです。NISAを利用して購入できる金額は年間100万円まで、非課税期間は5年間、20歳以上の方が利用可能です。制度は国民の資産形成の後押しを目的としており、すでに全国で約880万人がNISA口座を開設したと発表されています。さらに2016年からは年間購入可能額が120万円に拡大され、未成年者を対象とした「ジュニアNISA」の新設も予定されています。

制度が拡充され関心が高まる一方で、利用にあたっては元本保証ではない商品の投資を検討する際のポイントをしっかりと押さえる必要があります。

1点目は「よく知る」ことです。よく分からない商品に大切なお金を投じることは誰でも怖いことですし、リスクのある投資の世界だからこそリスクを分散、軽減、回避する多くの知恵も用意されています。もう1点、「自分が怖くない金額で投資する」ことも大事なポイントです。投資と聞くと大きな金額を想像しがちですが、投資信託は5千円程度から購入することができる身近な商品でもあります。

昨今はインターネット上にも多くの情報が溢れていますが、まずは身近な金融機関でゆっくりと説明を聞き、理解ができた商品で「怖くない投資」をすることが税制の利点以上に大切なポイントと言えます。

<制度概要>	成人NISA (現NISA)	ジュニアNISA (2016年新設予定)
利用年齢	20歳以上	0～19歳
年間非課税投資枠	120万円*	80万円
非課税期間	5年	5年
払い出し制限	なし	18歳まで制限あり
運用口座管理	本人	親権者等が代理

*2016年より現行の100万円から拡大予定



字安次嶺の村踊り

踊りで交流 地域活性化

琉球銀行 田原支店長
宮城 嗣男

那覇市小禄地区には、小禄、田原、金城、赤嶺、安次嶺、当間、鏡水、大嶺、高良、宮城、具志、宇栄原の12の字があり、それぞれ自治会活動や地域文化の伝承が盛んな地域です。

なかでも字安次嶺では、伝統芸能である「字安次嶺の村踊り」が1994年3月に那覇市の「無形民俗文化財」に指定され、貴重な伝承文化として現在も公民館や学校などで上演されています。

かつて安次嶺地域は肥沃な土地を持った農業の盛んな地域で、農作物の出荷時期になると早朝から夜遅くまで活気にあふれていたと言われます。特にキャベツや人参が特産品で、大量に那覇の市場へ出荷され、本土へも移出されるほどでした。

いくつかの説がありますが、戦前まではその農作物の豊穡を願って7年ごとに、旧暦の8月8日から10日ごろに「村踊り」が行われていたと言われます。「村踊り」に出演する人々は、たいへん名誉なこととして一心に稽古に打ち込んだそうです。

戦後は、集落が米軍基地として収用されたため、多くが現在の安次嶺自治会館の周辺に集まり、新集落を形成しました。そこで郷友会的な活動が行われる中、先人たちの伝統を守りたいという思いから字安次嶺の村踊りが復活したと言われます。

字安次嶺では18の踊りと「久良葉大主（くらふあうふぬし）」という有名な組踊が受け継がれています。踊りを通じた人々の交流が、地域の活性化活動に大きく貢献しているようです。

「字安次嶺の村踊り」演目

1	2	3	4	7	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
長寿の大王	かぎやで風(若衆踊り)	こてい節(女踊り)	揚作田(セイ)(二才踊り)	すーりあがり節(二才踊り)	高離節(若衆踊り)	月見(二才踊り)	貴花(女踊り)	伊集の木(扇)(二才踊り)	エサ節(二才踊り)	揚口説(若衆踊り)	揚作田節(笠)(二才踊り)	はんだ前節(女踊り)	湊くり節(二才踊り)	山節(二才踊り)	伊集の木(セイ)(二才踊り)	しゅんどう(打組踊り)	八人踊り(若衆・二才踊り)	組踊「久良葉大主」

※1993年3月28日に県立郷土劇場で上演されたプログラムから

出所：『組踊「久良葉大主（大湾敵討）について』 當間一郎氏



貴社の回収業務の効率化と 顧客満足度の向上をご支援いたします！

回収率 アップ

手軽で便利なコンビニからのお支払い
貴社のお客さまは、土日祝日に関係なく、24時間365日気軽にお支払いいただけますので貴社の料金回収効率が高まります。

コスト 削減

集金事務に要したコストを大幅に削減
貴社は、お客様に払込取扱票を送付するだけで、お客様から回収した資金を貴社ご指定の預金口座に入金しますので、集金事務における人件費等が大幅に削減できます。

すばや い 情報提供

回収情報をすばやくご提供
回収情報を、すばやくご提供しますので消込処理・督促処理等が迅速に実行できます。また、回収資金入金日をお知らせしますので資金計画も立てやすくなります。

事務処理 が楽々

電子データにより消込処理が軽減
回収情報は貴社が設定された顧客番号等を含む電子データでご提供しますので、消込処理の自動化が可能となり、事務負担が大幅に軽減できます。

コンビニ収納サービスで貴社に適した回収業務をサポートします

●コンビニ収納サービスが貴社のお客さまにもたらすメリット

- ・ライフスタイルに合わせて、いつでもどこでもコンビニでお支払いが可能になります。
- ・コンビニでのお支払いが可能になることで、お支払い方法のバリエーションが増えます。
- ・インターネット取引で、クレジットカードをお持ちでない方、カード決済を希望されない方もお支払いできます。

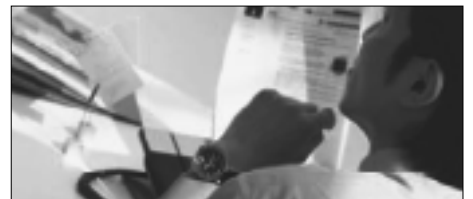
●当行のコンビニ収納サービスの特徴



契約は当行とだけ!
各コンビニと個別に契約いただく必要はございません。



初期投資も最小限で!
情報管理に、専用パソコンソフトや専用Web画面を提供します。



豊富な実績!
様々なノウハウがあるので、円滑にサービスを導入いただけます。

コンビニ収納サービス **スタンダード**

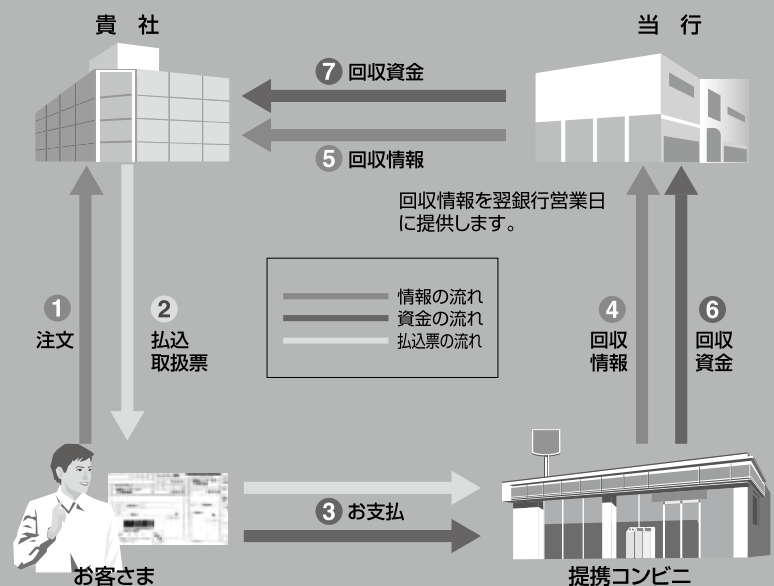
いつでも(24時間365日)どこからでも(日本全国)回収いたします。

販売代金や会費などの各種料金を、貴社に代わって当行が提携する各コンビニ店舗でお客様から回収し、その回収情報(バーコード情報)を貴社に提供します。回収した資金は貴社の預金口座に入金するサービスです。

全国5万6千店舗のコンビニが貴社に代わって回収いたします。

ご利用例

- 塾・予備校・セミナー
授業料、入学金、検定試験受験料、パソコン講習代金、月謝、セミナー代金の回収にご利用いただけます。
- 不動産管理会社
家賃、駐車代金の滞った借主に対する督促を早めるためにご利用いただけます。
- その他
小売業(食品、物販)、通信販売会社、ガス・石油会社、クレジットカード会社、新聞販売会社、出版会社 等



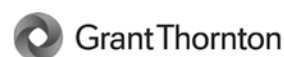
本件に関するお問い合わせ先

株式会社琉球銀行
営業推進部 公務グループ 塩崎

TEL

098-860-3470

受付時間 【平日】AM 9:00 ~ PM 5:00



An instinct for growth™

経理部門の基本有用情報
太陽グラントソントン
今月の経理情報 2015年11月

今回のテーマ

工事進行基準を利用した不正会計の防止のために

工事進行基準による会計処理は、下記の算式により売上高が計上されますので、一般的に将来の見積りの要素を多く含み、財務諸表の虚偽表示のリスクが高くなるが多いため、会計監査人に対する留意事項として、「工事進行基準等の適用に関する監査上の取扱い」（以下、実務指針）が公表されました（平成27年4月30日、日本公認会計士協会）。

実務指針では、工事進行基準を適用している企業における過去の不正事例やこれを防止するための内部統制について詳細に解説されています。企業側においても、この実務指針を利用し、自社の内部統制について再度点検をするために利用できる内容となっています。

【工事進行基準による売上高の算式】

- ・当期の工事収益＝工事収益総額×工事進捗度－前期までの累計工事収益計上額
- ・工事進捗度＝決算日までの発生工事原価／工事原価総額

実務指針で列挙されている不正事例

不正事例		工事進行基準による会計処理への影響の例
工事収益	意図的に工事契約の認識単位を設定する。	工事進行基準が適用されるべき工事契約の単位を不正に操作し、工事収益を早期に計上する、あるいは工事利益を前取りする。
	工事収益総額が注文書又は契約書で確定していない場合に、工事収益総額を不適切に見積もって工事進行基準を適用する。	実際には、受注額の増額が見込めないにもかかわらず、顧客と合意しているかのように仮装することによって、工事収益総額を過大に見積り、工事収益の過大に計上する。
工事原価	実現可能性が低い原価低減活動による原価低減を考慮して、工事原価総額を不適切に見積もる。	（工事進捗度算定式の分母となる）工事原価総額を意図的に減額することで工事進捗度を操作して、工事収益を早期に計上する。
	工事契約の管理者が、他の工事契約に原価を付け替えることで工事原価を操作する。	（工事進捗度算定式の分子となる）当期発生工事原価を意図的に増額することで工事進捗度を操作して、収益を早期に計上する。
	工事原価を故意に計上しない又は架空原価を計上することによって、工事原価を操作する。	
	作業実績時間を操作して工事原価を操作する。	

お見逃しなく！

工事進行基準による会計処理は、会計不正を招き易い面があります。昨今の経営環境を踏まえ、工事進行基準を適用している企業においては、工事進行基準による会計不正を防止するための内部統制の一斉点検等を行おうとする動きがあります。

一方で、最も重要なことは、経営者が会計に関する高い倫理観を有し、また、その考え方を工事の管理者等に的確に伝え、会計不正が生じないような企業文化を創ることと考えられます。内部点検などをする場合には、その背景や趣旨などを社内で十分に共有することが強いガバナンスを作る上で最も重要と考えられます。

沖 縄

11.6 沖縄国税事務所によると、2014年度の法人税の申告件数は前年度比3.4%増の22,116件となり、申告所得金額の総額は前年比4.0%増の2,048億5,500万円となった。また、申告税額の総額は前年比9.6%増の487億6,100万円となり、いずれも過去最高となった。

11.11 株式会社サンエーと楽天Edy株式会社は、21日より「サンエーEdyカード」をリニューアルする。従来までは、サンエー店内でのみサンエーポイントを貯めることができたが、今後、全国約43万カ所の楽天Edy加盟店でもサンエーポイントが貯められる。

11.17 ヤマトホールディングス株式会社は総合物流施設の沖縄グローバルロジスティクスセンター「サザンゲート」を18日より稼働させる。「総在庫量のマネジメント」、「化粧品製品等の製造支援」、「機器修理・メンテナンス」など、国際物流の過程で新たな付加価値機能を提供する。

11.24 日通グループの琉球物流株式会社は、12月から隔週で那覇発香港向け海上リーファー（冷凍）混載サービスを開始する。本サービスは、小ロットの冷凍貨物輸送の高コスト、輸送日数が高いなどの課題を解決し、食品輸送をサポートする。

11.26 大規模商談会の「沖縄大交易会」が26日、27日の2日間開催された。前年に続き2回目の開催となり、県内外の出展企業200社と国内外のバイヤー164社が参加し、個別商談会やフリー商談会を行った。

11.26 名護市に大型商業施設「ザ・フォレストモール名護」がオープンした。同施設は約2万4千平方メートルの敷地内に、店舗ごとに建物が独立している大型ショッピングモールとなっており、「スポーツデポ」をはじめ県内初出店の靴専門店「Mift(ミフト)」などがオープンする。

全国・海外

11.11 北海道占冠村にあるリゾート施設「星野リゾートトマム」を所有する投資会社が、12月1日より現在のアメリカ系投資ファンドから中国を代表するコングロマリットの1つであるFosunグループへ変更となる。運営会社は、星野リゾートが継続する。

11.17 新関西国際空港株式会社の運営概況(10月、速報値)によると、関西国際空港の総発着回数は10月として過去最高を記録した。国際線発着回数についても15年8月に並び単月として過去最高を記録した。また、国際線旅客数累計(1~10月)は過去最高の14年(暦年)年間累計を上回った。

11.19 財務省の貿易統計(10月、速報)によると、貿易収支は1,115億円となり7カ月ぶりの黒字だった。輸出は前年同月比2.1%減の6兆5,440億円となり、14カ月ぶりに減少した。輸入は同13.4%減の6兆4,325億円となり、10カ月連続で減少した。

11.24 三菱重工業は、カナダテレサット社の通信放送衛星を載せたH-IIAロケット29号機を打ち上げ、予定されていた軌道投入に成功した。日本のロケット初の商業衛星打上げ輸送サービスに成功した。

11.27 農林水産省の15年農林業センサスによると、農林業経営体数(2015年2月1日時点)は140万2千経営体で、2010年比18.8%減となった。農業経営体のうち、家族経営体数は134万2千経営体で同18.6%減となったが、組織経営体は3万3千経営体で同6.3%増となった。

11.27 総務省の労働力調査によると、完全失業率(10月、季節調整値)は3.1%となり、前月の3.4%から0.3%ポイント改善した。また、1995年の7月以来、約20年ぶりの低水準となった。

沖縄県内の主要経済指標

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	泡盛 出荷量	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2012	1.4	▲1.3	1.3	▲13.4	30.0	▲0.7	237,692	1.7	1,768.4	3.9
2013	2.5	1.0	3.4	18.1	7.1	▲2.5	266,778	12.2	2,136.7	20.8
2014	6.9	2.5	3.3	▲6.2	7.8	-	294,689	10.5	2,097.5	▲1.8
2014 9	8.8	3.4	3.7	▲9.7	11.1	16.0	31,485	35.8	136.5	▲48.4
10	1.7	2.4	2.9	▲20.8	▲2.3	-	27,642	▲11.8	126.4	▲35.4
11	15.2	2.9	3.3	▲26.9	5.9	-	17,512	▲11.9	137.9	▲25.9
12	21.0	1.7	2.7	▲20.1	21.5	-	22,968	36.8	195.2	22.6
2015 1	16.3	1.8	2.7	▲29.1	▲13.6	-	14,359	▲28.4	126.7	▲11.6
2	21.0	3.7	4.8	▲29.6	▲1.4	-	25,384	17.1	155.3	▲17.5
3	3.5	▲6.4	▲5.2	▲20.6	▲1.4	-	53,096	151.7	143.2	▲36.1
4	32.8	11.8	13.8	▲2.4	1.3	-	11,991	▲47.8	207.4	▲38.9
5	25.0	7.0	10.0	▲7.6	▲9.1	-	12,215	▲37.9	159.3	18.2
6	10.8	4.5	7.3	13.5	▲10.7	-	34,358	74.0	189.9	12.8
7	14.2	1.1	4.5	▲4.1	15.5	-	33,472	▲28.3	162.4	20.2
8	32.7	5.5	8.6	▲6.6	▲2.1	-	23,352	0.8	222.9	32.4
9	17.3	3.6	6.8	2.4	▲6.6	-	30,835	▲2.1	158.9	16.5
10	12.3	3.2	6.4	13.8	▲6.1	-	48,301	74.7	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	酒造組	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。泡盛出荷量の2014年6月は未公表。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	入域観光客数		観光施設 入場者数
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千人	前年比	前年比
2012	12,713	7.5	3.4	▲0.7	3.6	▲6.1	▲7.0	5,835.8	7.8	6.2
2013	16,618	30.7	11.3	7.3	13.1	15.2	10.3	6,413.7	9.9	9.2
2014	15,426	▲7.2	10.7	18.3	4.6	9.4	9.1	7,056.2	10.0	6.7
2014 9	1,301	▲35.4	▲15.5	29.5	12.1	0.5	6.7	658.7	8.4	5.3
10	1,018	▲35.6	▲26.2	34.1	13.3	9.4	15.1	586.0	7.9	2.6
11	1,216	▲35.8	27.3	14.4	0.2	▲8.6	12.5	564.5	9.9	13.2
12	1,368	▲4.8	31.0	19.6	4.7	3.6	2.1	549.2	6.5	6.9
2015 1	1,181	10.9	▲57.8	16.9	5.9	▲4.9	▲6.1	530.1	7.1	6.8
2	1,338	3.1	37.3	6.6	3.3	▲17.1	1.0	550.9	9.5	7.0
3	980	▲36.4	103.6	9.8	2.5	▲12.8	▲10.6	659.0	4.6	1.2
4	1,172	▲17.3	▲55.9	2.1	▲6.1	▲5.0	12.7	635.4	12.3	5.3
5	1,254	12.4	97.8	▲12.5	▲16.9	▲17.0	▲10.9	611.4	8.9	8.9
6	1,828	27.7	97.9	3.1	▲0.2	▲0.5	5.6	610.0	9.5	7.6
7	1,362	16.2	28.9	20.6	25.5	▲12.0	▲6.4	714.0	9.2	7.7
8	1,764	19.0	▲32.9	11.5	8.7	▲21.0	▲15.0	797.5	8.8	6.1
9	1,527	17.4	100.2	5.3	5.0	▲6.3	▲2.2	724.7	10.0	10.9
10	-	-	58.9	▲0.2	▲5.9	▲11.5	▲14.2	696.8	18.9	13.6
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ				県文化観光スポーツ部 観光政策課		りゅうぎん 総合研究所	

注) 入域観光客数は、2011年以降の数値について混在率の変更により遡及修正した。Pは速報値。

注) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先が6施設から5施設となった。

暦年	ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		ゴルフ場 入場者数 前年比	広告収入 前年比	入域観光客数 のうち外国客		鉱工業生産指数 (季調値)	
	市内	リゾート	市内	リゾート			千人	前年比	2010年=100	前年比
2012	69.4	71.1	3.4	4.1	▲1.2	4.3	376.7	34.5	96.3	▲0.5
2013	75.3	73.4	2.3	4.6	3.5	0.4	550.8	46.2	102.5	6.3
2014	79.0	77.8	5.1	5.0	0.7	4.0	893.5	62.2	104.6	2.0
2014 9	85.8	89.0	1.7	2.5	▲5.5	2.5	99.9	63.2	102.9	8.9
10	75.6	76.5	2.7	3.4	▲1.6	▲1.3	93.8	62.3	100.4	8.4
11	80.3	69.1	10.7	7.2	4.5	5.2	56.4	68.4	107.6	1.3
12	74.4	62.8	3.7	4.5	0.7	5.8	64.7	78.7	108.6	11.5
2015 1	76.7	74.1	8.8	3.0	5.3	1.2	67.9	41.2	99.7	▲2.1
2	92.2	85.1	▲0.1	4.8	4.1	▲3.0	86.7	95.7	100.8	10.2
3	84.4	79.9	▲6.9	▲2.0	3.4	▲4.3	79.0	62.2	103.7	▲6.0
4	81.1	78.7	5.2	▲0.3	3.5	1.5	130.6	76.7	104.4	▲0.1
5	72.3	71.8	9.3	10.8	5.7	▲4.4	133.7	45.8	96.2	▲9.2
6	76.5	75.7	2.5	0.3	3.4	▲2.6	149.2	56.2	99.6	▲0.4
7	86.0	87.4	7.1	3.2	▲5.7	▲0.6	163.0	76.6	104.9	1.8
8	87.1	87.2	10.0	4.3	3.5	▲1.0	154.7	83.7	97.1	▲5.1
9	89.3	89.1	16.3	14.4	4.8	▲3.3	149.6	49.7	-	-
10	82.9	86.0	14.9	19.2	21.3	-	145.1	54.7	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ					県文化観光スポーツ部 観光政策課			県企画部統計課	

注) ホテルは、2014年10月より調査先が25ホテルから27ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年=100に改定された。

暦年	企業倒 産件数 件	負債総額		消費者 物価指数 前年比	失業率 (季調値) %	就業者数 前年比	有効求人 倍率 (季調値) 倍	新 規 求人人数 (県内) 前年比	通関 輸出 百万円	通関 輸入 百万円
		百万円	前年比							
2012	71	10,745	▲38.2	0.0	6.8	1.3	0.40	9.6	80,654	336,046
2013	79	38,418	257.5	0.3	5.8	2.4	0.53	17.0	83,423	309,989
2014	78	10,112	▲73.7	2.5	5.4	0.5	0.70	14.7	81,162	377,849
2014 9	7	808	▲16.8	3.3	6.0	▲1.4	0.74	28.9	4,726	30,298
10	11	774	▲82.3	2.9	5.5	▲0.5	0.75	21.3	12,214	37,837
11	8	487	16.2	2.5	5.6	▲0.5	0.77	▲2.7	1,457	17,824
12	9	806	▲79.4	2.4	4.9	▲0.8	0.78	21.7	5,406	23,983
2015 1	7	375	▲74.9	1.8	5.0	▲2.6	0.76	21.1	9,350	20,686
2	6	1,453	579.0	1.8	6.5	▲0.2	0.78	10.2	6,261	20,145
3	9	451	16.8	2.0	5.7	2.3	0.79	12.3	3,185	30,512
4	1	62	▲95.3	0.1	4.2	5.9	0.80	28.5	2,956	15,669
5	4	313	▲54.2	0.3	4.5	6.2	0.84	7.0	2,910	29,367
6	7	546	▲73.9	0.3	5.4	3.5	0.85	9.7	1,478	14,212
7	4	1,685	366.8	0.4	5.5	2.9	0.84	14.6	1,574	34,448
8	6	2,936	321.2	0.0	4.6	4.3	0.86	5.5	1,333	22,428
9	8	649	▲19.7	▲0.2	5.1	5.4	0.88	▲1.6	1,338	14,199
10	3	333	▲57.0	0.0	5.5	3.1	0.89	23.7	1,553	22,808
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2011年7月より2010年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2014年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券発行額	銀行券還収額	銀行券増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2012FY	2,993	4,016	▲1,024	2.223	274	▲4.9	4,323	▲3.2	424	0.098
2013FY	3,137	4,260	▲1,120	2.065	267	▲2.3	4,420	2.2	505	0.114
2014FY	3,104	4,424	▲1,320	1.955	253	▲5.4	4,162	▲5.8	349	0.084
2014 9	213	402	▲189	1.975	23	▲2.9	399	▲13.4	105	0.262
10	257	371	▲114	1.972	21	▲3.4	342	▲1.9	4	0.010
11	198	279	▲81	1.966	17	▲8.9	252	▲6.3	3	0.011
12	582	214	368	1.955	22	▲3.2	342	▲3.7	0	0.000
2015 1	107	615	▲508	1.952	18	▲17.4	288	▲20.6	13	0.045
2	234	302	▲68	1.946	19	▲8.0	322	▲1.3	23	0.071
3	248	388	▲139	1.915	24	7.2	411	3.2	5	0.013
4	310	299	10	1.921	21	▲3.9	377	▲3.7	0	0.000
5	186	444	▲258	1.904	19	▲6.0	305	▲7.2	5	0.015
6	271	343	▲71	1.897	24	▲1.9	416	0.7	1	0.003
7	232	383	▲150	1.887	21	▲6.5	372	▲0.3	27	0.073
8	256	375	▲118	1.875	20	7.3	332	10.3	34	0.102
9	265	444	▲179	1.866	20	▲13.6	361	▲9.6	40	0.112
10	-	-	-	-	18	▲15.5	277	▲19.1	49	0.176
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2012FY	41,683	2.9	28,491	1.9	40,194	3.1	8,940	▲5.5	1,688	▲10.2
2013FY	42,266	1.4	29,713	4.3	41,516	3.3	8,176	▲8.5	1,554	▲7.9
2014FY	44,575	5.5	31,332	5.5	42,849	3.2	8,152	▲0.3	1,391	▲8.8
2014 9	43,664	3.1	30,151	5.8	43,665	3.1	8,058	▲4.4	1,435	▲8.9
10	42,892	3.7	29,953	6.2	43,210	3.3	8,028	▲4.3	1,420	▲10.4
11	43,678	4.3	30,051	6.2	43,482	3.6	7,989	▲4.3	1,404	▲10.8
12	43,644	4.4	30,395	5.9	43,627	3.8	7,939	▲5.8	1,412	▲10.3
2015 1	43,306	5.0	30,412	5.7	43,589	4.4	7,915	▲5.6	1,404	▲10.1
2	43,596	5.6	30,606	5.6	43,177	4.3	7,889	▲5.4	1,393	▲10.3
3	44,575	5.5	31,332	5.5	43,547	4.7	8,152	▲0.3	1,391	▲8.8
4	44,875	4.5	30,575	5.4	44,496	4.3	8,108	0.1	1,341	▲8.5
5	45,025	4.2	30,721	5.3	44,596	4.4	8,070	0.1	1,314	▲6.7
6	45,281	5.0	30,802	5.0	45,243	4.3	8,011	0.4	1,301	▲9.8
7	45,079	4.4	30,969	5.0	45,653	5.0	7,931	▲0.1	1,297	▲9.4
8	45,012	3.9	31,121	5.1	45,584	5.4	7,902	▲0.3	1,290	▲9.7
9	45,243	3.6	31,637	4.9	45,923	5.2	7,801	▲3.2	1,310	▲8.6
10	45,108	5.2	31,372	4.7	-	-	-	-	1,308	▲8.6
出所	沖縄県銀行協会		沖縄県銀行協会		日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から切手・小切手を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。

りゅうぎん ポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ!

とくとく特典

特典1

ATM時間外
手数料が **無料!**
(当行ATM利用時のみ)

特典2

当行本支店間の
振込手数料が **無料!**
(キャッシュカード使用時のみ)

特典3

スーパー定期の
金利を**上乘せ!**
(※店頭表示金利+0.05%)

ポイントサービスとは!

日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

エクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。



0120-19-8689

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

特集レポートバックナンバー

■平成26年

- 1月 (No.531) 経営トップに聞く 沖縄ツーリスト株式会社
An Entrepreneur 株式会社スペースチャイナ
特集 沖縄県経済2013年の回顧と2014年の展望
- 2月 (No.532) 経営トップに聞く 株式会社島袋
An Entrepreneur 有限会社丸玉製菓
- 3月 (No.533) 経営トップに聞く 株式会社レキオス
An Entrepreneur 農業生産法人株式会社アゼロラフレッシュ
- 4月 (No.534) 経営トップに聞く 有限会社金武酒造
An Entrepreneur 錦屋旗店株式会社
- 5月 (No.535) 経営トップに聞く 株式会社T&T
An Entrepreneur 有限会社グリーンフィールド
特集1 沖縄県の主要経済指標
特集2 2013年度の沖縄県経済の動向
- 6月 (No.536) 経営トップに聞く 沖縄県花卉園芸農業協同組合
An Entrepreneur 株式会社PBコミュニケーションズ
- 7月 (No.537) 経営トップに聞く 沖縄港運株式会社
An Entrepreneur 農業生産法人株式会社マルシェ沖縄
- 8月 (No.538) 経営トップに聞く 沖縄テクノクリート株式会社
An Entrepreneur 株式会社 幸
- 9月 (No.539) 経営トップに聞く 株式会社前田産業
An Entrepreneur 天妃前まんじゅう「ペーチン屋」
特集 宮古アイランドロックフェスティバル
2014の経済効果
- 10月 (No.540) 経営トップに聞く 株式会社照正組
An Entrepreneur 株式会社シュガートレイン
特集 県内女性の社会進出
- 11月 (No.541) 経営トップに聞く 沖縄メディカルグループ
An Entrepreneur DIRECT CHINA株式会社
特集 県内におけるレンタカー需要の動向

- 12月 (No.542) 経営トップに聞く 株式会社新垣通商
An Entrepreneur 株式会社グラスアート藍

■平成27年

- 1月 (No.543) 経営トップに聞く 特定医療法人葦の会
An Entrepreneur 有限会社水実
特集 沖縄県経済2014年の回顧と2015年の展望
- 2月 (No.544) 経営トップに聞く 株式会社石垣エスエスグループ
An Entrepreneur 有限会社ペンギン食堂
- 3月 (No.545) 経営トップに聞く 住宅情報センター株式会社
An Entrepreneur 株式会社ビザライ
- 4月 (No.546) 経営トップに聞く 株式会社久米島の久米仙
An Entrepreneur 株式会社ポイントビュール
- 5月 (No.547) 経営トップに聞く 学校法人みのり学園
An Entrepreneur 株式会社インターナショナルローカル
- 6月 (No.548) 経営トップに聞く 株式会社南都
An Entrepreneur 的エンタープライズ株式会社
- 7月 (No.549) 経営トップに聞く ジェフ沖縄株式会社
An Entrepreneur 株式会社あうん堂
- 8月 (No.550) 経営トップに聞く 有限会社喜納住宅開発
An Entrepreneur 株式会社FSO
- 9月 (No.551) 経営トップに聞く 社会医療法人友愛会
An Entrepreneur 有限会社日本アイル かどうか動物病院
- 10月 (No.552) 経営トップに聞く 株式会社ビッグワン
An Entrepreneur 株式会社アイセック・ジャパン
- 11月 (No.553) 経営トップに聞く 株式会社佐久本工機
An Entrepreneur 株式会社食のかけはしカンパニー

変革するビジネス環境を
お客様第一でトータルサポート。



詳しくは

リュウコム

検索

沖縄のIT総合サービス企業



株式会社 <http://www.ryucom.co.jp>

代表取締役社長 石川 眞一

■本社

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル11階
TEL.098-867-2584(代) FAX.098-867-2583

■浦添データセンター

〒901-2121 沖縄県浦添市内間4丁目1番1号 琉球銀行浦添ビル6階
TEL.098-876-3121(代) FAX.098-876-7065

りゅうぎん調査

No.554

平成27年 12月 5日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所
〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9
りゅうぎん健保会館3階
TEL 835-4650 FAX 833-3732

印刷：沖縄高速印刷株式会社

